

# YAMAHA



DISK ORCHESTRA UNIT

## DOU-10

MIDI DISK PLAYER

## MDFP2

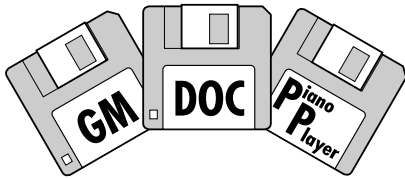


### 取扱説明書

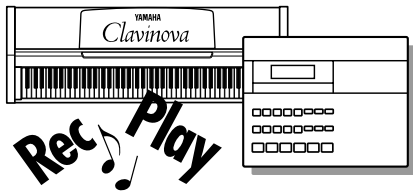
# ごあいさつ

このたびはヤマハディスクオーケストラユニットDOU-10 / MIDIディスクプレーヤーMDP2をお買いもとめいただき、まことにありがとうございます。本機のような機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

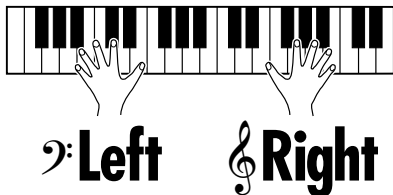
## 特 長



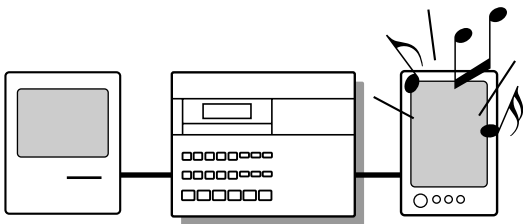
高品位なAWM音源は、GM (General MIDIシステムレベル1)、DOCに対応。ヤマハディスクオーケストラコレクションをはじめとして、GMソフト、ピアノプレーヤソフトなど、幅広い音楽ソフトの再生が可能です。また、本機の音源を鳴らすことにより、GM:128音色+8ドラムキット、DOC:61音色+1ドラムキットを使った演奏が可能です。



16トラックシーケンサーとして、電子ピアノ (ヤマハクラビノーバなど) やシンセサイザーなどの演奏が、最大60曲まで、簡単に録音 / 再生できます。



右手パート / 左手パートのパート別練習、ソロ演奏、マイナスワン演奏など、個人練習が簡単にできる機能を備えています。



コンピューターやシーケンサーなどと本機をMIDIケーブルで接続し、16パート / 最大同時発音数32のマルチ音源として利用できます。

### 音楽を楽しむエチケット



これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮 (おもいやり) を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

### 表記上の約束ごと

本書のページ右端には操作ガイドがついています。以下のマークを目安にお読みください。



注意

操作上の禁止事項、各種データが損なわれてしまう操作などを解説します。必ず目を通してください。



メモ

各機能を十分に理解するうえでのポイントや、本文で解説する機能の補足的な機能を解説します。



ヒント

演奏 / 操作上のヒントとなることを解説します。演奏にお役立てください。

# 目次

ご使用になる前に ..... 2	マイナスイワン/ソロ機能を使ってみましょう ..... 14	音源として使ってみましょう 30
各部の名称 ..... 3	1. マイナスイワンON、またはソロON ..... 14	音源の選択 ..... 30
電源の準備 ..... 3	2. マイナスイワン/ソロパートの切り替え .. 14	GM音源 ..... 30
<b>外部機器との接続</b> 4	<b>プレイファンクションについて</b> ..... 15	DOC音源 ..... 30
INPUT, OUTPUT端子の接続 ..... 4	プレイファンクションの入り方 ..... 15	<b>MIDIについて</b> 31
MIDI端子の接続 ..... 4	ディストランスポーズ ..... 15	MIDIとは ..... 31
ヘッドフォンを使うときは ..... 5	チューニング ..... 15	MIDI送信チャンネルの設定 ..... 31
<b>デモ曲を鳴らしてみよう</b> 6	リバーブ ..... 16	MIDIファンクション ..... 31
内蔵デモ曲 ..... 6	ディレイ ..... 16	クロックの設定 ..... 31
1. 電源ON ..... 6	タッチチェンジ ..... 16	スタート/コンティニュー/ストップ メッセージの受信設定 ..... 32
2. デモ曲のスタート ..... 6	パート(トラック)アサインについて 17	スタート/コンティニュー/ストップ メッセージの送信設定 ..... 32
3. 音量の調節 ..... 6	「パート」「トラック」について ... 17	MIDIスルーの設定 ..... 32
4. デモ曲のストップ ..... 6	<b>録音してみよう</b> 18	フィルターの設定 ..... 33
<b>ディスクデモ曲(付属ディスク)</b> ..... 7	録音 ..... 18	MIDIトランスポーズの設定 ..... 33
1. 付属ディスクの挿入 ..... 7	小節/時間表示の切り替え ..... 18	MIDI受信モードの設定 ..... 34
2. デモ曲(ソング)の選択 ..... 7	1. ディスクの挿入 ..... 18	
3. デモ曲のスタート ..... 7	フォーマット ..... 18	
4. デモ曲のストップ ..... 7	2. ソングの選択 ..... 19	
<b>ミュージックソフトを</b>	3. トラックの選択 ..... 19	
<b>鳴らしてみよう</b> 8	4. メトロノーム/イントロカウントの設定 20	
ミュージックソフトについて ..... 8	メトロノーム/イントロカウントの 音量設定 ..... 20	
<b>再生</b> ..... 8	5. テンポ/拍子の設定 ..... 20	
1. ディスクの挿入 ..... 8	テンポ ..... 20	
2. ソングの選択 ..... 9	拍子 ..... 21	
3. 再生のスタート ..... 9	クオンタイズ(録音時)の設定 ..... 21	<b>資料</b> 35
テンポの調整 ..... 9	6. 録音のスタート ..... 22	デモ曲リスト(付属ディスク) ..... 35
BEATランプについて ..... 9	7. 録音のストップ ..... 22	ヤマハ ミュージック・ソフトのご紹介 .. 35
再生パートのミュート(消音) ..... 10	8. 再生 ..... 22	ボイスリスト(GM/DOC) ..... 36
パートの音色/音量変更 ..... 10	再生のシンクロスタート ..... 22	ドラムキットリスト(GM/DOC) ..... 38
4. 再生のストップ ..... 11	メモリー残量の確認 ..... 22	ファンクションチャート ..... 40
PAUSEIIボタンについて ..... 11	<b>録音データのエディット</b> ..... 23	プレイファンクション ..... 40
FWD▶▶ボタンについて ..... 11	パンチイン録音 ..... 23	MIDIファンクション ..... 40
REW◀◀ボタンについて ..... 11	オーバーダブ録音 ..... 23	レコーディングファンクション ..... 41
ディスプレイ/シフトボタンについて 11	録音済みトラックデータの削除 ..... 24	ダイレクトファンクション ..... 41
<b>リピート(繰り返し)再生</b> ..... 12	録音後のクオンタイズ ..... 24	エラーメッセージリスト ..... 41
A-Bリピート ..... 12	<b>マルチトラック録音</b> ..... 25	MIDIデータフォーマット ..... 42
フレーズリピート ..... 12	全トラック(1~16トラック)の同時録音 25	MIDIインプリメンテーションチャート ... 44
ソングリピート ..... 13	いくつかのトラックの同時録音 ..... 25	こんなときは... ..... 46
	ソングネームの変更 ..... 26	初期化(システムリセット)について ..... 46
	バルクダンプの記録 ..... 26	DOU-10/MDP2モード切り替えについて ... 47
	<b>ソングデータの管理について</b> ..... 27	DOU-10/MDP2仕様 ..... 47
	ソングコピー ..... 27	
	ソングデリート ..... 28	<b>インデックス</b> ..... 48
	ディスクコピー ..... 28	保証とサービスについて ..... 49

# ご使用になる前に

## 取り扱い

- 本機は日本国内仕様です。電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。AC100V以外の電源は絶対に使用しないでください。（電源アダプターのセットアップについてはP.3を参照してください）
- ご使用にならないときは、電源（POWER）スイッチを切ってください。
- 長時間ご使用にならないときは、電源アダプターを家庭用コンセントから外してください。
- 落雷などの危険のある場合は、電源アダプターを家庭用コンセントから外してください。
- 消費電力の大きな機器と同じコンセントを使用したり、タコ足配線をする、音質が劣化するばかりでなく、故障などの原因となりますのでご注意ください。
- 物をぶつかけたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。
- ボタンやスイッチ類に無理な力を加えないでください。
- コード類を外すときは、プラグを持って外してください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になります。

## 設置場所

次のような場所で使用しますと、変形、変色、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 窓際や車内など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所。
- 温度の特に低い場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 振動の多い場所。

## 外装のお手入れ

- 汚れは柔らかい布でカラダキしてください。また、汚れのひどいときは少し湿らせた布で拭いてください。（アルコールやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。）
- ビニール製品を上に乗らないでください。貼りついてしまうことがあります。

## 改造について

- 本機を改造したり、内部を開けたりすることは故障や事故につながりますので、絶対にしないでください。改造された後の保証はいたしかねます。

## 他の電気機器への影響

- ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

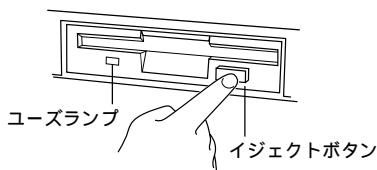
## フロッピーディスク、およびディスクドライブ取扱上の注意

### フロッピーディスクの種類

- 本機には市販の3.5インチ2DDマイクロフロッピーディスクをご使用ください。

### フロッピーディスクの取り出し

- ディスク挿入口左下のユーズランプが消えたことを確認した後（ディスクドライブが実行中でないことを確認した後）、イジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出了ことを確認してから取り出してください。



- イジェクトボタンを中途半端に押ししたり、あわてて押しすと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合があります。この場合、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたり、本機が故障したりする原因になります。このような場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、もう一度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。
- 録音中や再生中などは絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスクのデータがこわれるだけでなく、本機の故障の原因になります。
- 電源を切るときは、フロッピーディスクをあらかじめディスクドライブから取り出しておいてください。電源を切った後、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

### 磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- 本機は高精度の磁気ヘッドを使用しています。本機を長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れてくると、録音や再生（データの書き込みや読み取り）にエラーが生じることがあります。
- 本機は、ヘッドが汚れるとLCDディスプレイに「Clean Head!」を表示して、クリーニングの時期を知らせますが、さらに良い状態でお使いいただくために、定期的に（1ヵ月に1回程度）磁気ヘッドをクリーニングしていただくことをお勧めします。
- 磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、ヤマハ推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

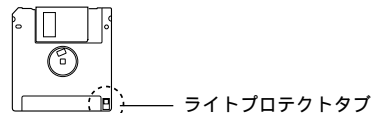
### フロッピーディスクについてのご注意

フロッピーディスクの取り扱いと保管  
フロッピーディスクの中にはデータを記録する磁性体が入っています。磁性体を保護し、さらにフロッピーディスクの磁気ヘッドを防護するために、以下の点にご注意ください。

- （持ち運ぶ場合も含めて）必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物を乗せたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体にふれないでください。
- 磁気を帯びたもの（テレビやスピーカーなど）には近づけないでください。
- 直射日光の当たる場所や、過度に高温/低温の場所、多湿な場所などに置かないでください。
- シャッターやディスク本体が変形しているようなフロッピーディスクは絶対に使用しないでください。
- フロッピーディスクにはラベル以外のもの（メモなど）を貼らないでください。また、ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

### 誤消去防止

- フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまうことがないようにライトプロテクトタブが付いています。大切なデータの入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン（タブの窓が開いた状態）にして書き込みができませんようにしてください。



ライトプロテクトON (書き込み不可)      ライトプロテクトOFF (書き込み可)

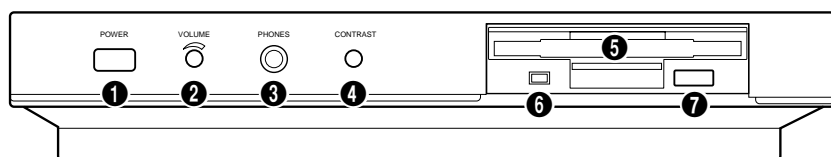
### データのバックアップ

- フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータは、バックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをお勧めします。

市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をお確かめの上、お求めください。

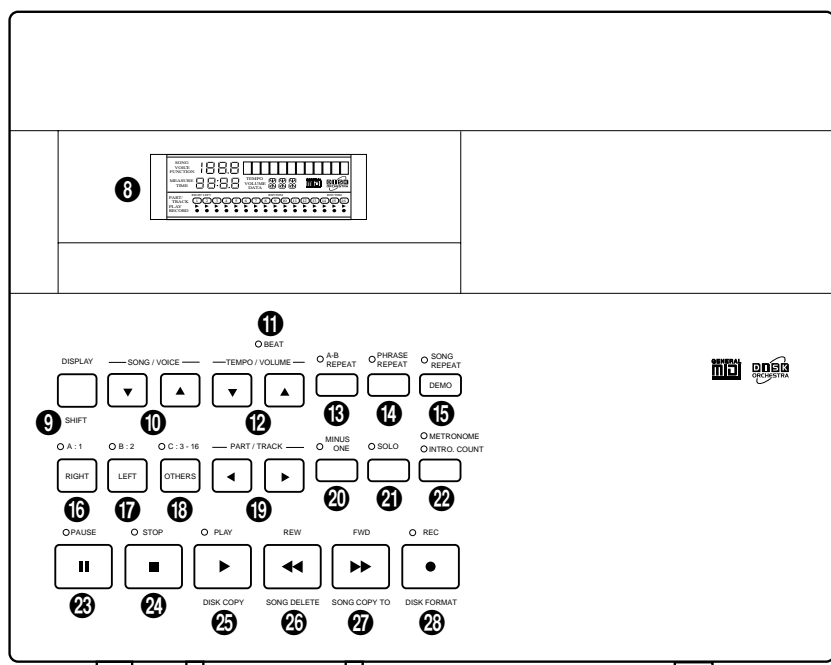
不適切な使用による故障につきましては、保証しかねる場合がございます。

# 各部の名称



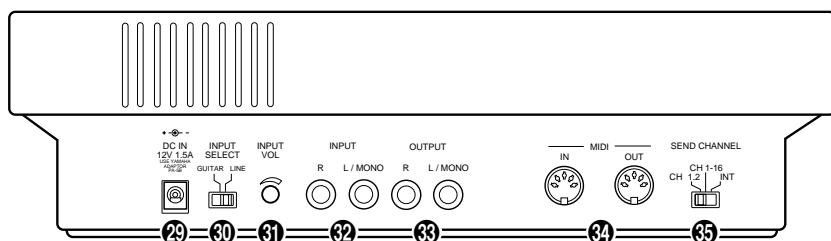
## フロントパネル (手前)

- ① POWER (電源) スイッチ ..... P.6
- ② VOLUME (音量) コントロール ..... P.6
- ③ PHONE (ヘッドホン) 端子 ..... P.5
- ④ CONTRAST (コントラスト) コントロール ..... P.6
- ⑤ ディスク挿入口 ..... P.2,7,8
- ⑥ ユーザランプ ..... P.2
- ⑦ イジェクトボタン ..... P.2



## フロントパネル (上面)

- ⑧ LCDディスプレイ ..... P.6
- ⑨ DISPLAY/SHIFT (ディスプレイ/シフト) ボタン ..... P.11
- ⑩ SONG/VOICE (ソング/ボイス) ▼▲ボタン P.7,9
- ⑪ ビート (BEAT) ランプ ..... P.9
- ⑫ TEMPO/VOLUME (テンポ/ボリューム) ▼▲ボタン ..... P.9,11
- ⑬ A-B REPEAT (A-Bリピート) ボタン ..... P.12
- ⑭ PHRASE REPEAT (フレーズリピート) ボタン P.12
- ⑮ DEMO/SONG REPEAT (デモ/ソングリピート) ボタン ..... P.6,13
- ⑯ RIGHT/A:1 (右手パート/A:1) ボタン ..... P.10,17
- ⑰ LEFT/B:2 (左手パート/B:2) ボタン ..... P.10,17
- ⑱ OTHERS/C:3-16 (その他のパート/C:3-16) ボタン ..... P.10,17
- ⑲ PART/TRACK (パート/トラック) ◀▶ボタン ..... P.10,14,17
- ⑳ MINUS ONE (マイナスワン) ボタン ..... P.14
- ㉑ SOLO (ソロ) ボタン ..... P.14
- ㉒ METRONOME/INTRO. COUNT (メトロノーム/イントロカウント) ボタン ... P.20
- ㉓ PAUSE (ポーズ) || ボタン ..... P.11
- ㉔ STOP (ストップ) ■ ボタン ..... P.6,7,11
- ㉕ PLAY/DISK COPY (プレイ/ディスクコピー) ▶ ボタン ..... P.7,9,28
- ㉖ REW/SONG DELETE (巻戻し/ソングデリート) ◀◀ ボタン ..... P.11,28
- ㉗ FWD/SONG COPY TO (早送り/ソングコピートゥー) ▶▶ ボタン P.11,27
- ㉘ REC/DISK FORMAT (録音/ディスクフォーマット) ● ボタン .. P.18,19

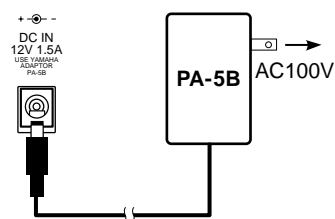


## リアパネル

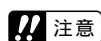
- ⑲ DC IN 12V 1.5A (電源アダプター) 端子 P.3
- ⑳ INPUT SELECT (インプットセレクト) スイッチ ..... P.5
- ㉑ INPUT VOL (インプットボリューム) コントロール ..... P.4,5
- ㉒ INPUT (入力) R, L/MONO端子 .... P.4
- ㉓ OUT PUT (出力) R, L/MONO端子 P.4
- ㉔ MIDI IN/OUT (MIDI) 端子 ..... P.4,31
- ㉕ SEND CHANNEL CH 1, 2/CH 1-16, INT (送信チャンネル) スイッチ P.31

# 電源の準備

付属の電源アダプターPA-5Bを使用して、家庭用コンセントから電源をとります。



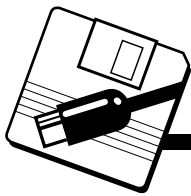
- ① アダプターのDCプラグを、リアパネルのDC IN 12V 1.5A端子へ差し込みます。
- ② アダプターを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込みます。



**注意** 電源アダプターは、必ず付属のPA-5Bをご使用ください。他のアダプターの使用は、故障につながります。このような場合の故障は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がありますので、充分にご注意ください。

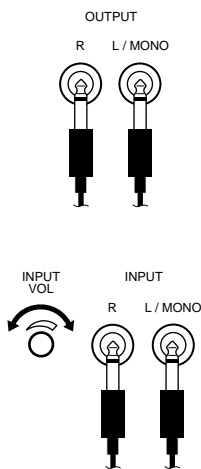
## スリープ機能について

電源を入れたまま、約20分間何の操作もしないと、LCDディスプレイに「I'm Sleepy」が表示されます。この時に何か操作をすると、「I'm Sleepy」を表示する前の状態に戻ります。何の操作もしないと、本機は省エネのためにスリープモードに入り、LCDディスプレイに「I'm Sleeping」を表示します。スリープモードに入った後、何か操作をすると電源を入れた直後の状態に戻ります。



# 外部機器との接続（音を出す準備）

## INPUT, OUTPUT端子の接続

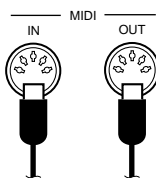


リアパネルのOUTPUT R, L/MONO端子から、本機の音声信号を外部機器に出力します。アンプ内蔵スピーカーやステレオシステム、電子ピアノ（クラビノーバなど）、キーボードアンプなど、本機の音源を鳴らす外部機器と接続します。

また、モノラルサウンドシステムに接続する場合は、L/MONO端子だけに接続します。左右のチャンネル信号が混ぜ合わされ、モノラル信号で送信されます。（Phoneプラグを使用してください）

リアパネルのINPUT R, L/MONO端子は、外部機器の音声信号を入力します。入力された音声信号は本機の音声信号と合わせて、出力端子から出力されます。入力信号の音量を調整したい場合は、リアパネルのINPUT VOLコントロールを回してください。

## MIDI端子の接続



本機リアパネルのMIDI端子（MIDI IN/MIDI OUT）と外部機器を付属のMIDIケーブルで接続します。

MIDI IN ..... 他のMIDI機器からのMIDI信号を受信します。

MIDI OUT .... 本機の演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。

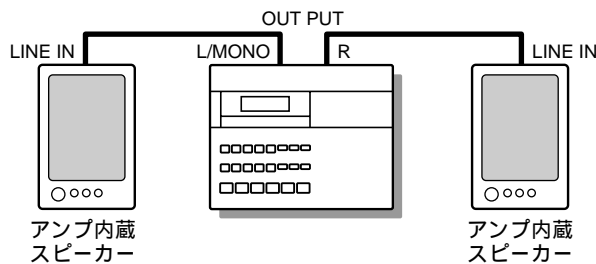
### メモ

詳細はP.31の「MIDIについて」の項を参照してください。

MIDI送信チャンネル（SEND CHANNEL）は、工場出荷時は「CH 1, 2」に設定されています。用途に合わせて、チャンネル設定を変更してください。（P.31参照）

### 接続例 1

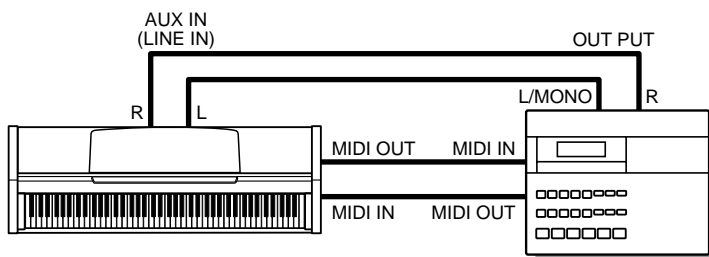
ミュージックソフトを本機の音源を使い、アンプ内蔵スピーカー（外部機器）で鳴らす場合



DOCソフトを聴いたり、DOCの再生をバックにフルートやバイオリンの練習もできます。

### 接続例 2

電子ピアノの演奏を本機で録音する場合  
その録音データを本機で再生し、電子ピアノで鳴らす場合



自分の演奏を録音して、オリジナルの演奏ライブラリーを作ることができます。

### メモ

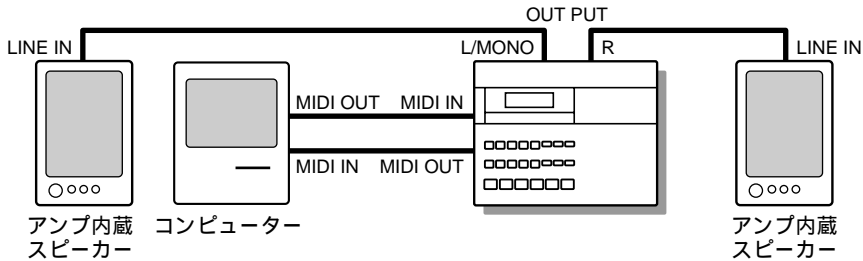
この場合、リアパネルのSEND CHを「INT」に設定してください。（P.31参照）

### メモ

この場合、リアパネルのSEND CHを「1/2」に設定してください。（P.31参照）

**接続例 3**

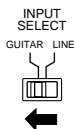
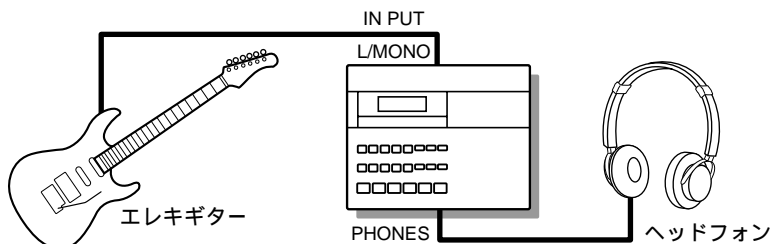
コンピューターやMIDIキーボードから、MIDI演奏データを受信し、本機の音源を使い、アンプ内蔵スピーカーで鳴らす場合



コンピューターの打ち込みデータの再生や、マルチトラック録音ができます。

**接続例 4**

本機の再生をバックにエレキギターを練習する場合



エレキギターに適した入力レベルに切り替えるために、本機リアパネルのINPUT SELECTスイッチを「GUITAR」の方に動かします。



エレキギターの音量を調整したい場合は、本機リアパネルのINPUT VOLコントロールを回してください。

**メモ**

この場合、リアパネルのSEND CHを「INT」に設定してください。(P.31参照)

**!! 注意**

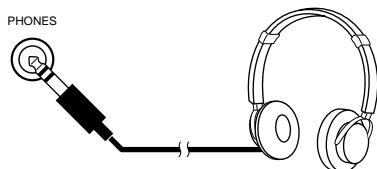
リアパネルのSEND CHANNELスイッチを「INT」に設定してください。(P.31参照)

エレキギター以外の電子楽器を接続する場合は、必ずINPUT SELECTスイッチを「LINE」側に設定してください。

**🎵 ヒント**

ソロ機能やマイナスイオン機能(P.14参照)を使って練習できます。

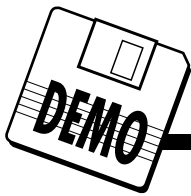
ヘッドフォンを使うときは



ヘッドフォンを使用する場合は、フロントパネル(手前)のPHONES端子に接続します。

**メモ**

ヘッドフォンをご使用になる場合には、VOLUMEコントロールで調節して、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。



# デモ曲を鳴らしてみよう

本機には1曲の内蔵デモ曲が、付属のデモディスクには30曲のデモ曲が入っています。まず、デモ曲を聴いてみましょう。

## 内蔵デモ曲

### 1 電源ON .....



フロントパネルのPOWERスイッチを押して、電源を入れます。  
ディスク挿入口にフロッピーディスクが入っていないことを確認してください。入っていない場合は、LCDディスプレイに「Insert Disk」が表示されます。

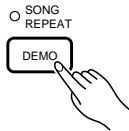


#### メモ

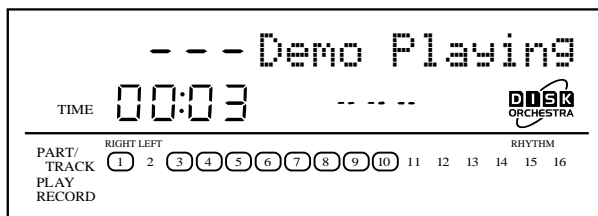
LCDディスプレイの表示が見にくい場合は、フロントパネル（手前）のCONTRASTコントロールを回すと、画面のコントラストを見やすく調節できます。



### 2 デモ曲のスタート .....



DEMOボタンを押すと、LCDディスプレイに「Demo Playing」が表示され、デモ曲の演奏がスタートします。



#### メモ

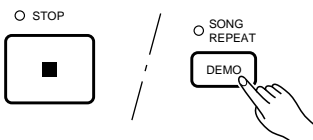
内蔵デモ曲は「霧のレイクルーズ」（倉本裕基作曲）です。

### 3 音量の調節 .....



フロントパネルのVOLUMEコントロールを回して音量を調節します。

### 4 デモ曲のストップ .....

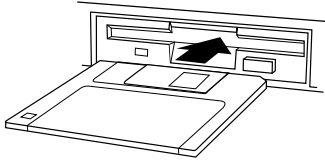


STOP ボタン、または、もう一度DEMOボタンを押すと、デモ曲の演奏がストップします。STOP ボタン、または、DEMOボタンを押すまで、デモ曲は繰り返し演奏されます。

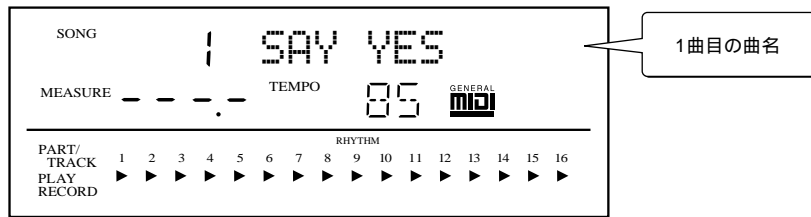


## ディスクデモ曲（付属ディスク）

### 1 付属ディスクの挿入.....



付属ディスクを挿入すると、ディスクデータが自動的に読み込まれ、1曲目の曲名がLCDディスプレイに表示されます。



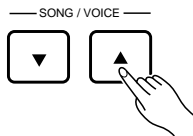
#### メモ

付属ディスクのデモ曲には、GM (General MIDI) 音源を使用した曲と、DOC音源を使用した曲があり、それぞれのロゴマークがLCDディスプレイに表示されます。

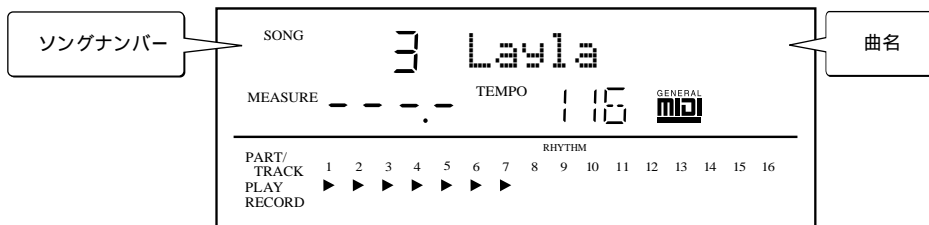
#### 注意

ユーズランプの点滅中は絶対にディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

### 2 デモ曲（ソング）の選択.....



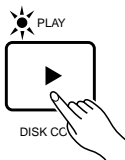
SONG/VOICE▼▲ボタンを押して、ソングナンバー1~30の中からデモ曲を選択します。▲ボタンを押すとソングナンバーが増加し、▼ボタンを押すとソングナンバーが減少します。押し続けると連続で増減します。



#### メモ

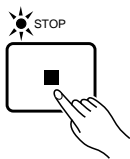
付属ディスクのデモ曲リストは、P.35を参照してください。

### 3 デモ曲のスタート.....



PLAY▶ボタンを押すと、デモ曲の演奏がスタートします。

### 4 デモ曲のストップ.....



デモ曲は再生が終わるとストップします。また、STOP ボタンを押すと、いつでもデモ曲の再生をストップすることができます。

#### ヒント

P.12を参照して、付属ディスクのデモ曲をリピート再生してみましょう。



# ミュージックソフトを鳴らしてみましよう

## ミュージックソフトについて

現在市販されているミュージックソフトには様々な種類がありますが、下記のミュージックソフトが本機で再生できます。

DOC (ディスクオーケストラコレクション) ソフト



ヤマハクラビノーバ用ソフトウェアです。パート1-2にメロディ(右手/左手)パートが、パート3-16にその他のパート(ベース、コード、リズムパートなど)が録音されています。ディスクを挿入するとLCDディスプレイに「DISK ORCHESTRA」マークが表示され、音源がDOCモードになります。

GM (General MIDI) ソフト



音色配列の規格「General MIDIシステムレベル1」に準拠したソフトウェアです。様々なメーカーから多数のタイトルが販売されています。ディスクを挿入するとLCDディスプレイに「GENERAL MIDI」マークが表示され、音源がGMモードになります。

### General MIDIシステムレベル1について

現在さまざまな楽器に普及しているMIDIは、メーカーや機種が違っても、演奏やその他の各種情報を伝達できる規格です。これにより、たとえばA社の音源用に作成したデータを使ってB社の音源を演奏できます。ただし、メーカーや機種によって音色配列やコントローラーの使い方が異なるため、データに互換性がありません。そこでシンセサイザーやトーンジェネレーターの音色配列やコントローラーの使い方に一定の基準を設け、メーカーや機種が異なってもほぼ同じ音色で演奏できるようにしたものが、GMシステムレベル1という規格です。

ピアノプレーヤソフト



ヤマハピアノプレーヤ用ソフトウェアです。ピアノのパートだけが録音されているため、ピアノ楽曲を練習したり、鑑賞したりするのに最も適したソフトです。ディスクを挿入するとLCDディスプレイに「GENERAL MIDI」マークが表示され、音源がGMモードになります。パートキャンセル機能に対応しているソフトでは、右手/左手パートが別々に再生できます。

## メモ

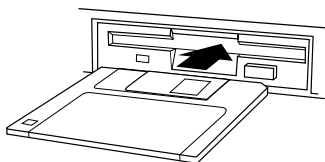
本機で読めるファイルフォーマット  
本機では、SMF (スタンダードMIDIファイル) フォーマット (フォーマット0)、ESEQフォーマットで作成されたデータを読むことができます。この時、SMF、ESEQファイルに、「GM ON」「DOC ON」が録音されていない場合、ソングが正確に再生されません。

SMFフォーマットとは?  
SMFとは、スタンダードMIDIファイル (Standard MIDI File) の略称です。SMFフォーマットは、シーケンスファイルフォーマットの一つで、メーカーや機種の異なるシーケンサーの間でも演奏データのやりとりを可能にするための規格に基づいたフォーマットです。

ESEQフォーマットとは?  
ESEQフォーマットは、ヤマハのシーケンサーやシンセサイザーなどで採用されているシーケンスファイルのフォーマットです。

## 再生

### 1 ディスクの挿入 .....



ミュージックソフトを、ディスク挿入口に挿入します。ディスクを挿入すると1曲目の曲名がLCDディスプレイに表示されます。

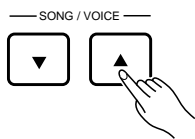
## !! 注意

ユーザランプ点滅中は絶対にディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

## メモ

ミュージックソフトを挿入すると、音源がDOCモード、またはGMモードに自動的に切り替わり、LCDディスプレイに「DISK ORCHESTRA」または「GENERAL MIDI」のマークが表示されます。(ミュージックソフトに「GM ON」「DOC ON」が録音されていない場合、音源は自動的に切り替わりません。)

## 2 ソングの選択



SONG/VOICE▼▲ボタンを押して、ソングを選択します。▲ボタンを押すとソングナンバーが増加し、▼ボタンを押すと減少します。押し続けると連続で増減します。

ソングナンバーを選択すると、LCDディスプレイにソングナンバーと曲名が表示されます。また、データが記録されているパートに、PLAY「▶」マークが表示されます。

何もデータが記録されていないソングナンバーを選択すると、LCDディスプレイに「\*\*\*\*\*」が表示されます。



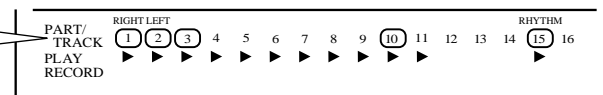
データがあるパートは▶を表示

## 3 再生のスタート



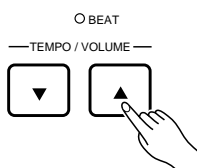
PLAY▶ボタンを押すと、ソングの演奏が始まります。

現在発音中のパートは、LCDディスプレイのパートナンバーに○が表示されます。



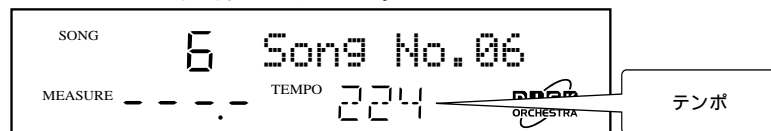
発音に合わせて点滅

### テンポの調整

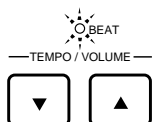


再生のテンポを調節することができます。LCDディスプレイに表示されているテンポの数値を、TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、♩=32~280の範囲でテンポを変更してください。

ディスクに記録されているテンポに戻すには、▼▲ボタンを同時に押ししてください。



### BEATランプについて



ソングの再生/録音時は、そのテンポに従ってBEATランプが点滅し、ビート(拍)を表示します。

- 一拍目.....ランプが赤色に点灯します。
- 二拍目以降.....ランプが緑色に点灯します。

### メモ

音源がDOCモードの時、「GM ON」が録音されていないIGMソフトを再生すると、DOC音源のままGMソフトが再生されるため、ソングが正確に再生されません。ディスクを一旦イジェクトしてから、音源をGMモードに変更してください。(P.30参照)

### メモ

再生をシンクロスタートする場合は、最初にPAUSE||ボタンを押してください。PAUSE||ランプとPLAY▶ランプが点滅して、シンクロ待機状態になり、MIDIで接続した外部機器からキーオン(押鍵情報)を受信すると同時に、再生が始まります。

メトロノームやリズムパターンを内蔵しているMIDIキーボードに本機を接続してミュージックソフトを再生すると、MIDIキーボードのメトロノームやリズムパターンが鳴る場合があります。このような場合は、MIDIファンクション3(スタート/コンティニュー/ストップメッセージの送信設定)をOFFに設定してください。(P.32参照)

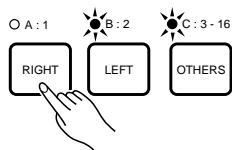
工場出荷時、MIDI送信チャンネルは「CH1,2」に設定されています。再生するソングのチャンネル構成など、必要に応じて、チャンネル設定を変更してください。(P.31参照)

テンポチェンジがたくさん記録されているソングデータを、曲の途中で巻き戻して続けて再生した場合、正しいテンポで再生されない場合があります。

ミュージックソフト再生中、フリーテンポの曲など、再生中、LCDディスプレイにテンポが表示されないもの、ビートランプが点滅しないものがあります。

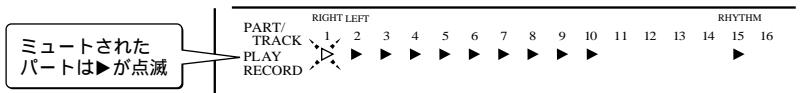
# ミュージックソフトを鳴らしてみよう

## 再生パートのミュート（消音）

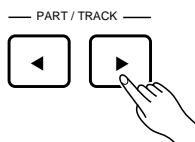


再生中/停止中にRIGHT/LEFT/OTHERSボタンを押すと、パート1/パート2/パート3-16単位で演奏をミュート（消音）することができます。ボタン上の緑のランプが点灯すると、そのパートは演奏され、消灯するとミュートされます。

ミュートされたパートは、LCDディスプレイのPLAY「▶」マークが点滅に変わります。

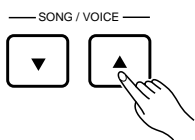
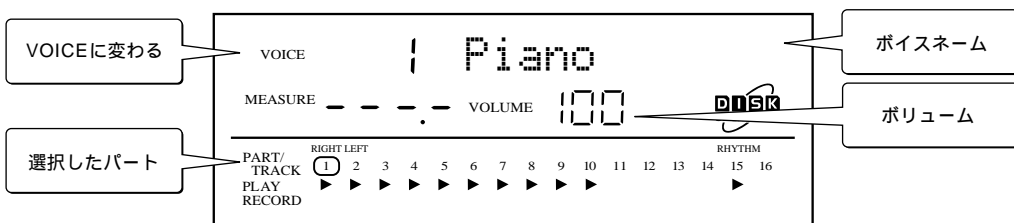


## パートの音色/音量変更



再生中/停止中にPART/TRACK◀▶ボタンを押すと、LCDディスプレイが「SONG」表示から「VOICE」表示に切り替わります。

PART/TRACK◀▶ボタンでパート（パート1-16のいずれか）を選ぶと、そのパートのボイスまたはドラムキットとボリュームがLCDディスプレイに表示されます。



ボイスやドラムキットを変更する時は、SONG/VOICE▼▲ボタンを押します。

▲ボタンを押すと、ナンバーが1つ増加、▼ボタンを押すと、ナンバーが1つ減少、押し続けると連続で増減します。SHIFTボタンを押しながら▼または▲ボタンを押すと10刻みで増減します。

ディスクに記録されているボイスに戻す時は、▼▲ボタンを同時に押ししてください。

変更できるパートとボイスは以下のとおりです。ボイスリストはP.36を参照してください。

### GMモード時

パート1-9、およびパート11-16の音色は、128音色、またはGMドラムキット（8種類）の中から選択できます。

パート10（リズムパート）のキットは、GMドラムキット（8種類）の中から選択できます。

### DOCモード時

パート1～10の音色は、61音色の中から選択できます。DOCのソングによっては、ドラムキットが表示される場合があります。

DOCのパート15（リズムパート）はドラムキットです。（ドラムキットは変更できません。）

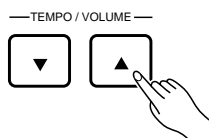
## ヒント

パートアサイン機能（P.17参照）を利用して、A/B/C（RIGHT/LEFT/OTHERS）の3つのパート構成を変更してみましょう。これにより、C（OTHERS）ボタンにアサインされているパート3-16の演奏も個別にミュートできるようになります。

マイナスイオン機能（P.14参照）を利用すると特定の1パートをミュートできます。

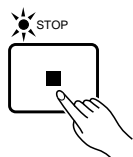
## メモ

通常の再生時には、ディスクに記録されているデータ変更と本体パネルのデータ変更が後着優先で実行されます。ただし、ミュート（上記参照）、ソロ（P.14参照）、マイナスイオン（P.14参照）時は、パネルのデータ変更が優先されます。



ボリュームを変更する時は、TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押します。ボリュームは0～127の範囲で変更できます。▲ボタンを押すと、ボリュームが1増加、▼ボタンを押すと1減少、押し続けると連続で増減します。SHIFTボタンを押しながら▼、または▲ボタンを押すと10刻みで増減します。ディスクに記録されているボリュームに戻す時は、▼▲ボタンを同時に押してください。

## 4 再生のストップ

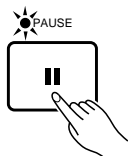


STOP ボタンを押すと、ソングの演奏がストップします。LCDディスプレイが「VOICE」表示の場合は、再生の終了と同時に「SONG」表示に戻ります。



LCDディスプレイの「VOICE」表示は、再生中でもDISPLAYボタンを押すと「SONG」表示に切り替わります。

### PAUSE|| ボタンについて

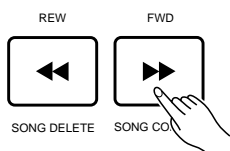


再生 / 録音をポーズ（一時停止）する時は、再生 / 録音中にPAUSE|| ボタンを押します。PLAY▶ボタン、またはもう一度PAUSE|| ボタンを押すと、停止していたところからもう一度再生 / 録音が始まります。



録音のポーズは、MIDIで接続した外部機器からキーオン（押鍵情報）を受信すると解除され、再び録音が始まります。

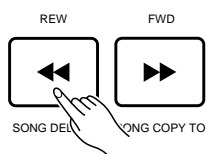
### FWD▶▶ ボタンについて



再生中 / 停止中に、FWD▶▶ボタンを押すと、押している間、演奏を早送りすることができます。再生中に早送りした場合（早送り中も再生音が鳴ります）、FWD▶▶ボタンを離れたところから再び再生が始まります。停止中に早送りした場合は、FWD▶▶ボタンを離すと、PAUSE||ランプが点灯し、演奏はその位置でポーズの状態になります。

再生をシンクロスタートする場合は、最初にPAUSE||ボタンを押してください。PAUSE||ランプとPLAY▶ランプが点滅して、シンクロ待機状態になり、MIDIで接続した外部機器からキーオンを受信すると同時に、再生が始まります。

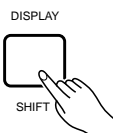
### REW◀◀ ボタンについて



再生中 / 停止中に、REW◀◀ボタンを押すと、押している間、演奏を巻き戻すことができます。再生中に巻き戻した場合、REW◀◀ボタンを離れたところから再び再生が始まります。停止中に巻き戻した場合は、REW◀◀ボタンを離すと、PAUSE||ランプが点灯し、演奏はその位置でポーズの状態になります。

### ディスプレイ/シフト (DISPLAY/SHIFT) ボタンについて

フロントパネルのDISPLAY/SHIFTボタンは、LCDディスプレイの「SONG」表示と「VOICE」表示を切り替えるボタンです。また、押し続けたり、他のボタンと組み合わせて押すことにより、様々なファンクションモードに入ることができます。



DISPLAY/SHIFTボタンを押す ⇨ 「SONG」表示と「VOICE」表示の切り替え。

DISPLAY/SHIFTボタンを3秒間押し続ける ⇨ 「プレイファンクションモード」へ。

録音待機中にDISPLAY/SHIFTボタンを3秒間押し続ける ⇨ 「レコーディングファンクションモード」へ。

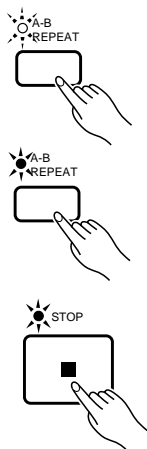
DISPLAY/SHIFTボタンを押しながら、PAUSE||ボタンを押す ⇨ 「MIDIファンクションモード」へ。

## リピート（繰り返し）再生

再生には通常の再生以外に、3種類のリピート再生（A-Bリピート/フレーズリピート/ソングリピート）があります。リピート再生はいずれも、練習に便利な機能です。

### A-Bリピート

曲の再生中に、自分が練習したいポイントにA（リピートの始まり）とB（リピートの終り）のマークを付けて、簡単にリピート再生できるのがA-Bリピートです。



- 1 曲の再生中に、A-B REPEATボタンを押すと、A-Bリピートの開始位置（A）がマークされます。Aがマークされると、A-B REPEATランプが点滅します。
- 2 もう一度、A-B REPEATボタンを押すと、A-Bリピートの終了位置（B）がマークされます。Bをマークすると、すぐにAに戻ってA-B間のリピート再生を開始します。リピート中は、A-B REPEATランプが点灯します。
- 3 STOP ボタンを押すと、A-Bリピートがストップします。A-B REPEATランプが点灯している間は、PLAY▶ボタンを押すたびに、A-B間をリピート再生します。

#### キャンセル

A-Bリピートの

次の場合に、A-Bリピートはキャンセル（取消）されます。

A-B REPEATボタンを押してランプを消した時。ただし、ソングの再生中にもう一度A-B REPEATボタンを押してランプを消すと、そのまま通常の再生になります。

ソングを変更した時。

### フレーズリピート（DOCソフトの再生専用）

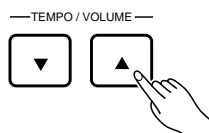
DOCソフトには、フレーズリピートできる曲があります。フレーズリピートとは、DOCソフトの曲データに記録されているフレーズナンバー（曲にフレーズマークを付けて分割し、ナンバーを付けたもの）ごとに指定してリピートできる機能です。



- 1 曲の停止中にPHRASE REPEATボタンを押すと、ボタン上のランプが点灯し、LCDディスプレイが「フレーズナンバーの選択モード」に切り替わります。



ディスクにフレーズマーク（ナンバー）が記録されていない場合は、ボタンを押している間、LCDディスプレイに「NoPhraseMark」が表示され、フレーズリピートができないことを表します。



- 2 TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、フレーズナンバーを選択します。

#### メモ

複数のリピート再生を同時に行うことはできません。（複数のランプは同時に点灯しません。）

#### メモ

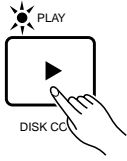
イントロカウント（P.20参照）が選択されている場合は、リピートするたびに、演奏前にカウント（クリック音）が鳴ります。

再生の一時停止中も、A、Bをマークすることができません。

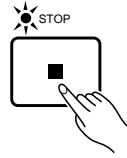
リピートの開始位置（A）がマークされると、Aより前に巻き戻すことはできません。Aのみがマークされた状態（A-B REPEATランプ点滅中）でストップし、PLAY▶ボタンを押すと、Aから再生がスタートします。

#### メモ

イントロカウント（P.20参照）が選択されている場合は、リピートするたびに、演奏前にカウント（クリック音）が鳴ります。



**3** PLAY▶ボタンを押すと、再生がスタートし、選択したフレーズ（ナンバー）の演奏が繰り返されます。LCDディスプレイは通常の再生と同様の表示になります。



**4** STOP ボタンを押すと、再生がストップします。PHRASE REPEATランプが点灯している間は、PLAY▶ボタンを押すたびに、選択したフレーズ（ナンバー）をリピート再生します。

#### キャンセル

フレーズリピートの次の場合に、フレーズリピートはキャンセル（取消）されます。

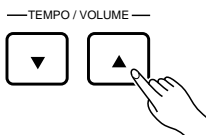
PHRASE REPEATボタンを押してランプを消した時。ソングの再生中にもう一度PHRASE REPEATボタンを押してランプを消した場合は、そのまま通常の再生になります。

### ソングリピート

ソングリピートのモード設定（オールリピート/シングルリピート/ランダムリピート）に従って、フロッピーディスクの曲をリピート再生します。



**1** 曲の停止中に、SONG REPEATボタンを押すと、ボタン上のランプが点灯し、LCDディスプレイがソングリピート表示に切り替わりま



**2** TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、ソングリピートのモードを下記の3つの中から選択します。

- 1:オールリピート（All Repeat）  
ディスクに記録されている全曲を、ソングナンバーの順番に繰り返し再生します。
- 2:シングルリピート（Single Repeat）  
選択した1曲を繰り返し再生します。
- 3:ランダムリピート（Random Repeat）  
ディスクに記録されている全曲を、ランダムに（無作為に）選択し、繰り返し再生します。



**3** PLAY▶ボタンを押すと、現在選択している曲から再生がスタートし（シングルリピートの場合はその曲だけを演奏します）、STOPボタンを押すまで繰り返し再生します。

#### ソングリピートのキャンセル

次の場合に、ソングリピートはキャンセル（取消）されます。

SONG REPEATボタンを押してランプを消した時。ソングの再生中にもう一度SONG REPEATボタンを押してランプを消した場合は、そのまま通常の再生になります。

#### メモ

ソングリピート中でも、ソロ、マイナスイオン、A、B、Cボタンを使ったトラックのミュートが可能です。（A、B、Cボタンのオン/オフ設定は、曲が変わると無効になります。）

付属のデモディスクも、ソングリピートが可能です。

## マイナスイワン/ソロ機能を使ってみよう

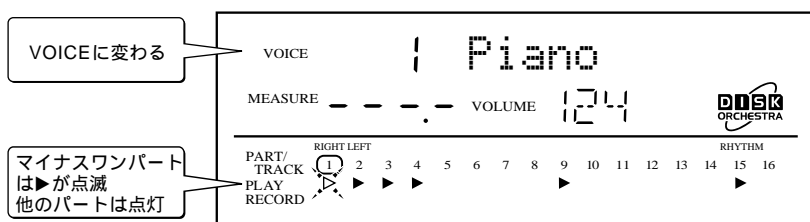
マイナスイワンとは、1パートだけの再生をミュートして、自分で演奏（練習）できる機能です。ソロとは、曲の1パートだけを再生する機能です。（他のパートがミュート（消音）されます。）

この2つの機能を活用して、パート別の練習をしてみましょう。

### 1 マイナスイワンON、またはソロON .....

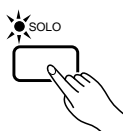


マイナスイワンをする場合は、MINUS ONEボタンを押して、ランプを点灯させます。現在選ばれているパート（マイナスイワンパート）がミュートされ、LCDディスプレイのパートナンバーに□が表示されます。この時演奏されるのは、現在選ばれている以外のパートです。ミュートされているパート（マイナスイワンパート）のPLAY「▶」マークは点滅し、その他のパートのPLAY「▶」マークは点灯します。

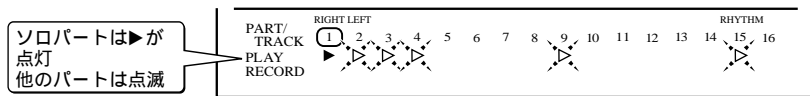


VOICEに変わる

マイナスイワンパートは▶が点滅  
他のパートは点灯



ソロをする場合は、SOLOボタンを押して、ランプを点灯させます。現在選ばれているパート（ソロパート）だけが演奏され、LCDディスプレイのパートナンバーが□で囲まれて表示されます。演奏中のパート（ソロパート）のPLAY「▶」マークは点灯し、ミュートされている他のパートのPLAY「▶」マークは点滅します。



ソロパートは▶が点灯  
他のパートは点滅

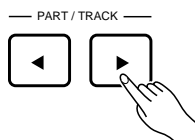
#### メモ

マイナスイワン演奏とソロ演奏は同時に行えません。（ランプは、同時に点灯しません。）

#### ヒント

自分が弾きたい（マイナスイワン演奏したい）パートをソロで聞いてみましょう。

### 2 マイナスイワン/ソロパートの切り替え .....



PART/TRACK◀▶ボタンを押すと、マイナスイワン/ソロのパート（パート1-16のいずれか）が切り替わります。

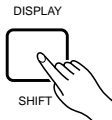
ソロでマイナスイワンするパートを探し出し、マイナスイワン再生に合わせて、ミュートされているパートを自分で演奏してみましょう。



# プレイファンクションについて

ディスクの再生音をトランスポーズしたり、チューニングを調整したり、再生音にリバーブをかけてみましょう。また、外部機器と発音タイミングがずれる場合はディレイを、演奏タッチ（ペロシティ）を補正する場合はタッチチェンジを調節してください。

プレイファンクションの  
入り方

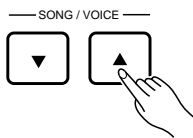


停止中 / 再生中に、DISPLAYボタンを約3秒間押し続けると、LCDディスプレイはプレイファンクションに切り替わります。

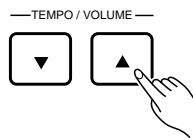
もう一度、DISPLAYボタンを押すとLCDディスプレイは「SONG」表示に戻ります。

## ディスクトランスポーズ

ディスクの再生音の音程を、 $\pm 6$ 半音（ $\pm$ 半オクターブ）の範囲で調整することができます。



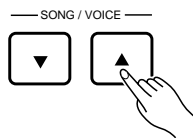
**1** プレイファンクションに入り、SONG/VOICE▼▲ボタンを押して、ファンクションのナンバー1を選択します。



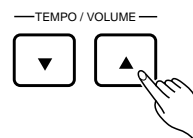
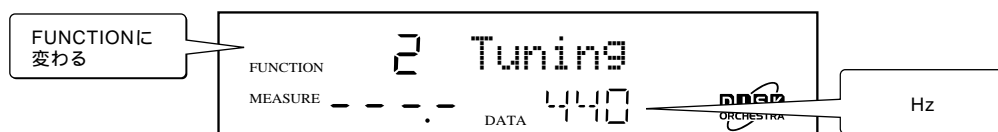
**2** TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、 $\pm 6$ 半音の範囲でトランスポーズ値を設定します。

## チューニング

他の楽器と微妙に音程が異なる場合、音源の音程をA3=415 ~ 466Hz（ $\pm 100$ セント：半音）の範囲で微調整することができます。



**1** プレイファンクションに入り、SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー2を選択します。



**2** TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、415 ~ 466Hzの範囲で設定します。

### メモ

TEMPO/VOLUME▲▼ボタンを同時に押すと、デフォルト（初期設定）：「0」に戻ります。

ディスクトランスポーズを設定したまま録音すると、トランスポーズがかかった状態で録音されます。

MIDIからの入力に対しては、ディスクトランスポーズは機能しません。

リズムパート、またはその他のパートでドラムキットが選ばれている場合、そのトラックはトランスポーズしません。

### メモ

TEMPO/VOLUME▲▼ボタンを同時に押すと、デフォルト（初期設定）：A3=440Hzに戻ります。

# ミュージックソフトを鳴らしてみよう

## リバーブ

音源の音にリバーブをかける（残響効果をつける）ことができます。

- 1 プレイファンクションに入り、SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー3を選択します。



- 2 TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、1~5の中からリバーブタイプを選択します。

### リバープリスト

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1: Off (オフ)       | リバーブはかかりません。        |
| 2: Room (ルーム)     | 部屋の中で弾いたような残響効果です。  |
| 3: Hall1 (ホール1)   | 小ホールで弾いたような残響効果です。  |
| 4: Hall2 (ホール2)   | 大ホールで弾いたような残響効果です。  |
| 5: Cosmic (コズミック) | 音が左右に揺れ動くような残響効果です。 |

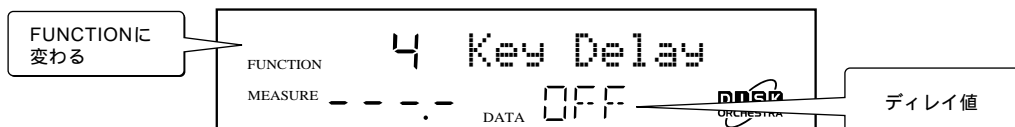
### メモ

デフォルト（初期設定）は「4: Hall2」です。  
リバーブはすべてのパートに同時にかけられます。

## 音源発音ディレイの設定

発音のタイミングが違う外部機器（ピアノプレーヤなど）を鳴らす場合に、本機と外部機器を同期させるためにディレイタイムを設定します。

- 1 プレイファンクションに入り、SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー4を選択します。



- 2 TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、0 (OFF) ~ 500 (ms) の範囲で設定します。▼▲ボタンを押すたびに、5 (ms) 単位で設定値が変わります。

### メモ

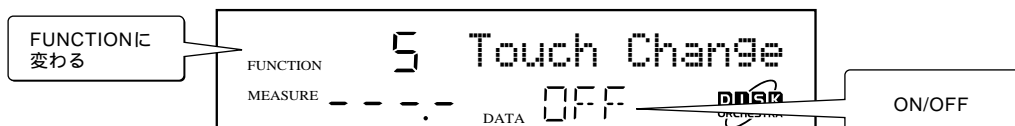
ディレイを設定すると音源の発音だけを遅らせるため、小節表示やビートランプの点滅と発音タイミングがずれます。  
デフォルト（初期設定）は「0 (OFF)」です。

## タッチチェンジ

本機の演奏を下記のクラピノーバで鳴らす場合、パート1/2の演奏タッチ（ペロシティ）が弱くなることがあります。このような場合はタッチチェンジの設定をONすれば、ペロシティを補正してクラピノーバに出力するため、タッチを強くすることができます。

CVP-3, CVP-5, CVP-6, CVP-7, CVP-8, CVP-10, CLP-20, CLP-30, CLP-40, CLP-45, CLP-50, CLP-55, CLP-100, CLP-200, CLP-300, CLP-500

- 1 SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー5を選択します。



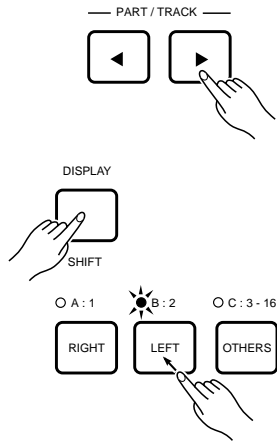
- 2 TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選択します。

### メモ

デフォルト（初期設定）は「OFF」です。  
プレイファンクション6（小節/時間表示の切り替え）、7（GM/DOCの切り替え）、8（ソングネームの登録）については、それぞれP.18、P.30、P.26を参照してください。

## パート（トラック）アサインについて

本機はヤマハのクラビノーバ用ソフト（DOCなど）に対応し、RIGHT/Aボタンにパート1（たとえばピアノの右手パートの演奏）が、LEFT/Bボタンにパート2（たとえばピアノの左手パートの演奏）が、OTHERS/Cボタンにパート3-16（伴奏パートの演奏）が、初期設定でアサイン（登録）されています。ただし、GMソフトではメロディの演奏がパート1, 2に記録されているとは限りません。このような場合はパートの入れ替え（パートアサイン）をすると便利です。次の方法でパートをA、B、またはCボタンにアサインしてください。



- 1 PART/TRACK◀▶ボタンを押して入れ替えたいパートを選択します。
- 2 SHIFTボタンを押すと、現在そのパートがアサインされているボタン（A、B、またはCのいずれか1つ）のランプ[緑]が点灯します。
- 3 SHIFTボタンを押しながら、そのパートをアサインしたいボタン（A、B、またはCのいずれか1つ）を押します。

### メモ

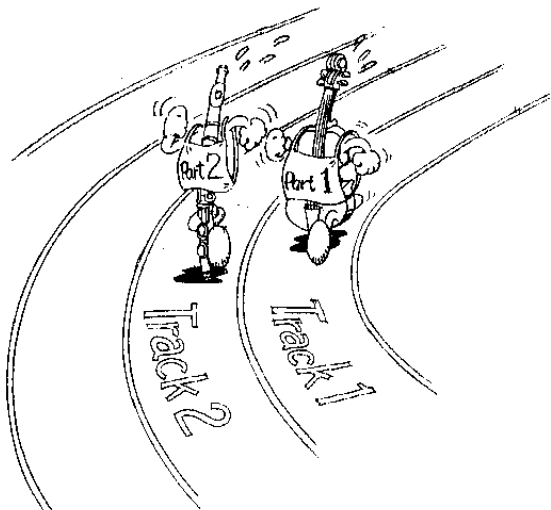
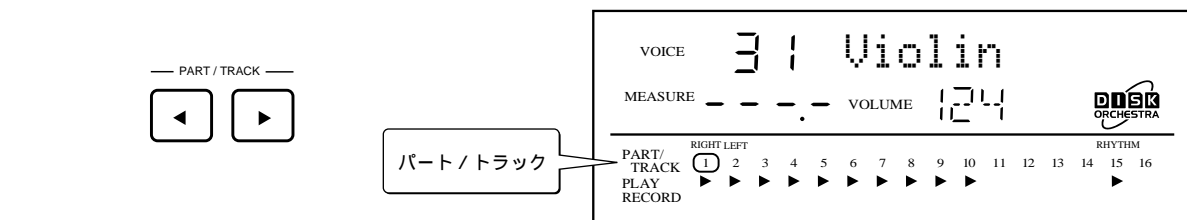
一つのボタン（A、B、またはCのいずれか1つ）に、最大16パートまでアサインできます。

本機をシーケンサーとして使用する場合は、同じ方法でトラックをアサインすることができます（トラックアサイン）。録音をするときは、SHIFTボタンを押してトラックアサインの状態を確認し、必要に応じてA、B、またはCボタンのいずれかにトラックをアサインしてください。

再生中、録音中は、パート（トラック）アサインはできません。

## 「パート」「トラック」について

本機では、LCDディスプレイでPART/TRACKを表示します。どのような時に「パート」を表示し、どのような時に「トラック」を表示するのでしょうか？ この項では、「パート」、「トラック」について説明します。



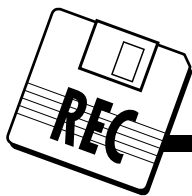
パート別の演奏情報を録音するのがトラックです。

### パート

たとえば、オーケストラでは、バイオリンやチェロやフルートなど、楽器別の奏者のグループ（区分）を「パート」と呼びます。本機を音源として使用する場合（ミュージックソフトを再生する場合など）、オーケストラ同様に1~16の区分が1~16パートになります。この時、PART/TRACKボタンを、パートを選択する「パートボタン」として使用します。

### トラック

たとえば、カセットテープは磁気テープを2つ（ステレオの左右）に区分して音を録音しています。この区分を「トラック」と呼びます。一般的なカセットテープは「2トラック録音」です。同様に本機をシーケンサー（録音機器）として使用する場合、1~16の区分が1~16トラックになります。この時、PART/TRACKボタンを、トラックを選択する「トラックボタン」として使用します。

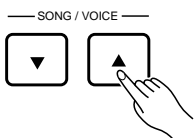
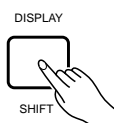


# 録音してみましょう

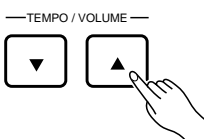
本機では1枚のフロッピーディスク（3.5インチ2DDタイプ）に最大60曲（合計約50,000音）まで、録音することができます。

## 録音

### 小節 / 時間表示の切り替え



FUNCTIONに  
変わる



LCDディスプレイの「MEASURE（小節）」表示と「TIME（時間）」表示を切り替えます。録音する時は「MEASURE」表示が便利です。

- 1 停止中に、DISPLAYボタンを約3秒間押し続けると、LCDディスプレイはプレイファンクションに切り替わります。
- 2 SONG/VOICE▼▲ボタンを押して、ファンクションのナンバー6を選択します。



1、または2

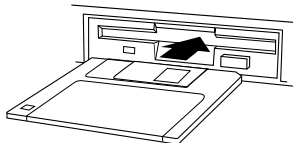
- 3 TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、「1：MEASURE」表示と「2：TIME」表示を切り替えます。

- 1：MEASURE ..... 小節数と拍数を表示します。
- 2：TIME ..... 曲の頭からの経過時間を「分」と「秒」で表示します。

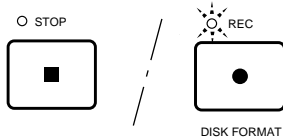


メモ  
デフォルト（初期設定）は「1：MEASURE」です。

## 1 ディスクの挿入



### フォーマット



フロッピーディスクを、ディスク挿入口に挿入します。本機用にフォーマットされていないフロッピーディスクは、下記を参照してフォーマット操作を行ってください。

市販のフロッピーディスクは、そのままでは本機で使用できません。使用するには、フォーマット（初期化：本機で利用できる状態にすること）操作が必要です。以下の操作でフォーマットしてみましょう。

- 1 市販のフロッピーディスクをディスク挿入口に挿入します。LCDディスプレイに「UnformatDisk」（フォーマットされていません）、「FormatDisk？」（フォーマットしますか？）が続けて表示され、REC ランプとSTOP ランプが点滅します。



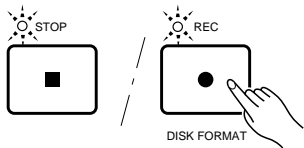
フォーマット  
ディスク？



注意  
ユーザランプ点滅中は絶対にディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

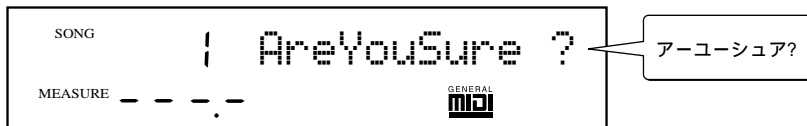


メモ  
本機はMS-DOSの9セクタ720Kbyteでフォーマットされたディスクデータを扱うことができます。

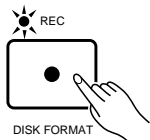


**2** REC ボタンを押すと、REC ランプとSTOP ランプがもう一度点滅し、LCDディスプレイに「ARE YOU SURE?」（実行してもいいですか？）が表示され、フォーマットの確認を求めます。

STOP ボタンを押すとLCDディスプレイに「Eject Disk!」が表示されます。フォーマットを中止する場合は、フロッピーディスクをイジェクトしてください。

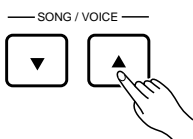


**3** もう一度REC ボタンを押すと、フォーマットが開始されます。



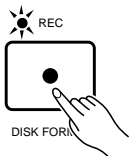
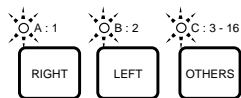
フォーマット中はLCDディスプレイに「Formatting..」と数値（「80」→「0」）が表示され、フォーマットの進行状況をカウントダウンしていきます。数値が「0」になると、「Completed」が表示され、フォーマットの終了を知らせた後、「SONG」表示に戻ります。

## 2 ソングの選択



録音するソングナンバーを選択します。何も録音されていないソングナンバーを選択してください。何も録音されていないソングナンバーはLCDディスプレイに「\*\*\*\*\*」が表示されます。

## 3 トラックの選択

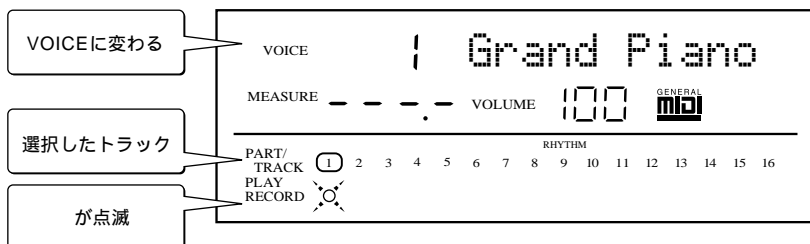


REC ボタンを押すと、REC ランプが点灯し、RIGHT/A、LEFT/B、OTHERS/Cボタン上のランプ [ 赤 ] が点滅します。

トラック1に録音する場合はRIGHT/Aボタンを、トラック2に録音する場合はLEFT/Bボタンを、トラック3-16に録音する場合はOTHERS/Cボタンを押します。

OTHERS/Cボタンを押した場合は、さらにPART/TRACK◀▶ボタンを押して、3-16トラックからいずれかのトラックを選択します。

録音トラックを選択すると、ボタン上のランプ [ 赤 ] が点灯し、PLAY▶ボタン上のランプとLCDディスプレイの選択したトラックナンバーのRECORD「 」マークが点滅し、録音待機状態になります。



### メモ

フォーマットを中止する場合は「ARE YOU SURE?」表示中に、フロッピーディスクをイジェクトしてください。

本機用にフォーマットしたフロッピーディスクを、改めてフォーマットする場合は、フロッピーディスク挿入後、SHIFTボタンを押しながら、DISK FORMAT ボタンを押してください。1の「Format Disk?」表示に移行します。

### メモ

録音時に、使用する音源（GM、またはDOC）を選択することもできます。（P.30参照）

### メモ

デフォルト（初期設定）では、RIGHT/Aボタンにトラック1、LEFT/Bボタンにトラック2、OTHERS/Cボタンにトラック3がアサインされています。トラックのアサインは変更することができます。P.17の「パート（トラック）アサインについて」の項を参照してください。

複数のトラックを同時に録音することもできます。P.25の「マルチトラック録音」の項を参照してください。

### ヒント

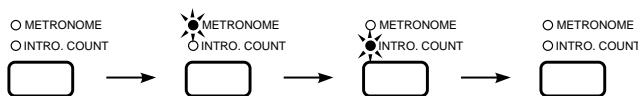
録音するボイスを選択することができます。P.10「パートの音色 / 音量変更」の項を参照して、ボイスを変更して録音してみましょう。

## 4 メトロノーム/イントロカウントの設定

録音時は、メトロノーム、またはイントロカウントを鳴らすと、演奏のタイミングが分かり、とても便利です。

イントロカウントは、録音スタートの2小節前からカウント（クリック音）を鳴らして、録音開始のタイミングを知らせます。

METRONOME/INTRO. COUNTボタンを押すたびに、ランプの点灯が、次のように切り替わります。



### メモ

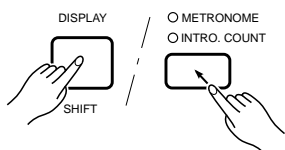
録音のスタート時、鳴っているメトロノームと演奏開始のタイミングがずれても、メトロノームは演奏開始のタイミングに合わせてリセットされます。（演奏とメトロノームがそろってスタートします。）

ポーズから再スタートした場合のイントロカウントは、2小節よりも少なくなる場合があります。

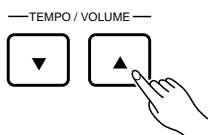
イントロカウントはLCDディスプレイが時間表示の時は使用できません。

INTRO. COUNTランプが点灯していると、録音/再生の開始だけでなく、録音や再生をポーズから再スタートした時も、クリック音が2小節分鳴ります。

### メトロノーム/イントロカウントの音量設定



SHIFTボタンを押しながら、METRONOME/INTRO. COUNTボタンを押すと、LCDディスプレイが「メトロノーム/イントロカウントの音量設定」画面に切り替わります。



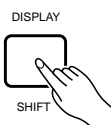
TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで、メトロノーム/イントロカウントの音量を、0～127の範囲で設定します。TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを同時に押すと、デフォルト（初期設定）=100に戻ります。設定後は、DISPLAYボタンを押して、LCDディスプレイを元に戻してください。

### メモ

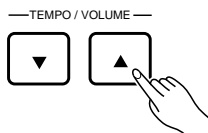
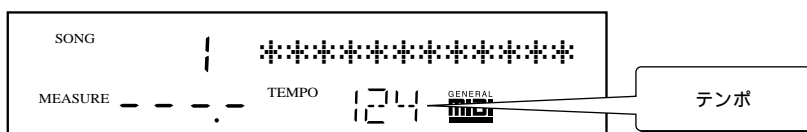
録音待機状態を解除してから、メトロノーム/イントロカウントの音量設定してください。

## 5 テンポ/拍子の設定

テンポ



DISPLAYボタンを押して、LCDディスプレイを「SONG」表示に切り替えます。

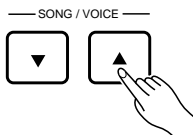
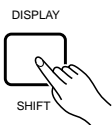


メトロノームを聴きながら、TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、32～280の範囲でテンポを設定してください。

### メモ

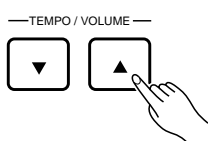
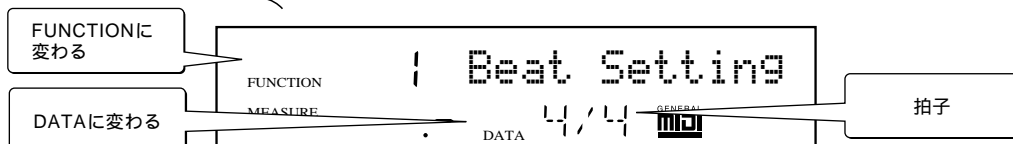
テンポは録音後も変更することができます。オーバーダブ録音の録音待機状態でテンポを変更してください。ただし、オーバーダブ録音中は変更できません。（P.23参照）

## 拍子



録音待機中に、DISPLAYボタンを約3秒間押し続けると、LCDディスプレイはレコーディングファンクションに切り替わります。

SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー1を選択します。



TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで拍子を設定します。

拍子は次の中から選べます。

GMモード時

2/2, 1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/8, 9/8, 12/8の7種類の中から選択。

DOCモード時

2/4, 3/4, 4/4の3種類の中から選択。

### メモ

デフォルト（初期設定）は「4/4」です。

拍子は録音後に変更できません。必ず録音する時に設定してください。

クオンタイズ（録音時）の設定クオンタイズとは、録音時の演奏のばらつきを整える機能です。

クオンタイズする前の音符の状態

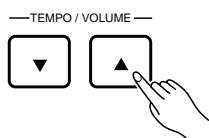
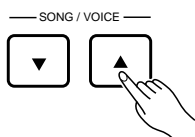


「1/8」でクオンタイズした後の音符の状態



クオンタイズのサイズは、録音する曲の中で弾く最小の音符に合わせて設定してください。たとえば4分音符と8分音符を弾く（録音する）場合は最小の音符「1/8（8分）」に合わせて設定します。これを「1/4（4分）」に設定して録音すると8分音符は4分音符上に移動してしまいます。

前項「拍子」同様、LCDディスプレイをレコーディングファンクションに切り替えます。



SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー2を選択します。TEMPO/VOLUME▼▲ボタンでクオンタイズのサイズを設定します。

クオンタイズのサイズは次の中から選べます。

OFF	クオンタイズなし	1/16	16分	
1/4	4分	1/24	3連16分	
1/8	8分	1/32	32分	
1/12	3連8分			

### メモ

録音が終了すると、クオンタイズはデフォルト（初期設定）の「OFF」に戻ります。

クオンタイズされるのはキーオン（押鍵情報）のみです。

録音後のクオンタイズはP.24を参照してください。

## 6 録音のスタート

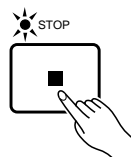


PLAY▶ボタンを押す、または外部機器からMIDI演奏情報を受信すると録音が始まります。

### メモ

イントロカウントが設定されている場合、PLAY▶ボタンを押して録音をスタートさせてください。MIDI演奏情報の受信ではスタートしません。

## 7 録音のストップ



STOP ボタンを押すと、録音が終了します。LCDディスプレイには、自動的に付けられたソングネーム「Song No. xx (xxはソングナンバー)」が表示されます。

### メモ

フロッピーディスクのメモリーがいっぱいになると、STOP ランプが点滅し、LCDディスプレイに「Disk full!!」を表示して、これ以上録音ができないことを知らせます。

ソングネームは、自分の好きなネームに変更できます。(P.26参照)

### !! 注意

録音済みのトラックを選択し、上記の方法でもう一度録音すると、以前トラックに録音されていたデータはすべて消去され、新しいデータに書き変わります。



3、6、7を繰り返して他のトラックも録音してみましよう。

## 8 再生

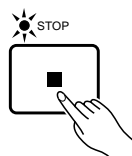


PLAY▶ボタンを押すと再生がスタートします。

### 再生のシンクロスタート

PAUSE||ボタンを押すと、PAUSE||ランプとPLAY▶ランプが点滅し、シンクロ待機状態になります。この時、本機のMIDI INに接続されたキーボードを演奏すると、再生がスタートします。

### メモリー残量の確認



停止中に、STOP ボタンを押すと、フロッピーディスクのメモリー残量が表示されます。録音途中でメモリー残量が無くならないよう、チェックの目安にしてください。



メモリー残量は、何も録音していない状態で「713キロバイト」です。LCDディスプレイ表示が「0キロバイト」になるとそれ以上録音できません。

### メモ

フロッピーディスクが入っていないと、メモリー残量は表示されません。

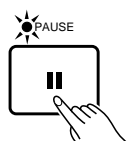
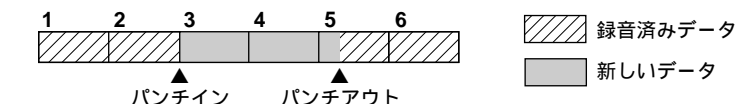


## 録音データの編集

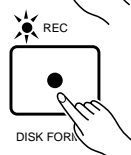
録音データの一部を再録音するパンチイン録音、録音データに新しい録音を重ねるオーバーダブ録音、録音したトラックデータの削除、録音後のクオンタイズ、といった録音データの編集（修正）方法を説明します。

### パンチイン録音

「パンチイン録音」は、録音済みの演奏データの一部だけを再録音する方法です。



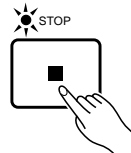
**1** 再録音したい部分の先頭まで再生して、PAUSE ボタンを押します。（FWD ボタン、REW ボタンを使用しても構いません）



**2** 通常の録音方法と同様に、REC ボタンを押して、パンチイン録音したいトラックを選択して録音待機状態に入ります。



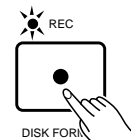
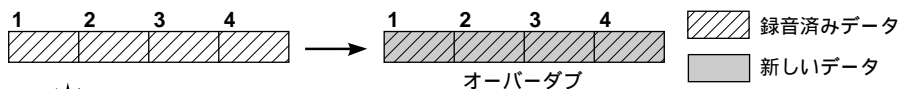
**3** PLAY ボタン、またはPAUSE ボタンを押す、または外部機器で演奏を始める（MIDI演奏情報を受信する）とパンチイン録音が始まります。



**4** STOP ボタンを押すと、パンチイン録音が終了（パンチアウト）します。STOP ボタンを押した位置より後の演奏データは、以前録音されていたものが、そのまま残ります。

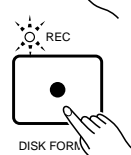
### オーバーダブ録音

「オーバーダブ録音」は、録音済みの演奏データに、重ねて新しい演奏を録音する方法です。



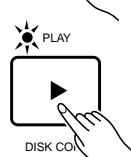
**1** 通常の録音方法と同様に、REC ボタンを押して（REC ランプ点灯）、オーバーダブ録音したいトラックを選択します（PLAY ランプ点滅）。

この時、LCDディスプレイのPLAY「」マークとRECORD「」マークが交互に点滅します。

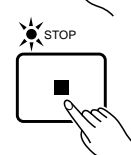


**2** もう一度REC ボタンを押すと、REC ランプとPLAY ランプが点滅して、オーバーダブ録音の録音待機状態になります。

この時、LCDディスプレイのPLAY「」マークは点灯、RECORD「」マークは点滅に変わります。



**3** PLAY ボタンを押すと、オーバーダブ録音がスタートします。この時、LCDディスプレイのPLAY「」マークとRECORD「」マークは、両方とも点灯に変わります。



**4** STOP ボタンを押すと、オーバーダブ録音が終了します。

#### !! 注意

録音データを編集すると、元のデータは書き替えられてしまいます。ソングコピー（P.27参照）をしてから編集することをおすすめします。

録音データの編集を行うには、編集する録音データと同等のメモリー残量が必要です。P.22を参照してメモリー残量を確認してから編集してください。

#### メモ

パンチイン録音の開始位置に、演奏データがあった（発音中だった）場合、そのデータは、パンチイン録音後も残ります。

パンチイン録音の終了位置に、演奏データがあった（発音中だった）場合、そのデータは、パンチイン録音後は残りません。

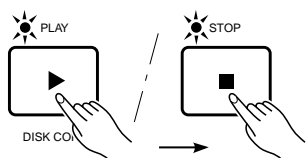
#### メモ

録音済みのデータの音色・音量などは、初期設定値のみ変更できます。**2**の録音待機状態で設定値を変更してから、REC ボタンを押すと、初期値のみ書き替えられます。

DOCソングの場合、テンポを曲の最初の部分で変更すると、曲全体のテンポがその変更分だけ、相対的に変わります。（相対テンポ）

GMソングの場合、テンポを変更しても、その後曲の途中にテンポ変更データが記憶されていればそのテンポが変わります。（絶対テンポ）

## 録音済みトラックデータの削除 .....



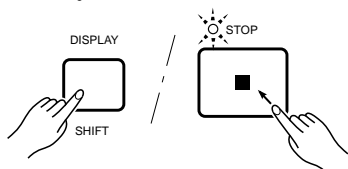
録音済みのトラックを録音待機状態にして、PLAY▶ボタンで録音を開始し、何も演奏せずに（外部機器からMIDI演奏情報を受信せずに）STOP ボタンを押すと、そのトラックの演奏データはすべて削除されます。

### メモ

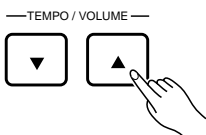
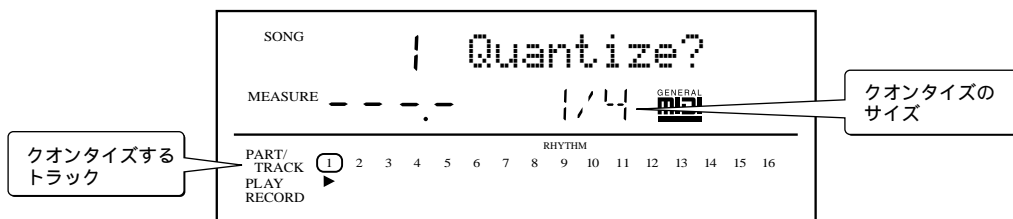
すべてのトラックの録音済み演奏データを削除しても、パルクデータが記録されているため、ソングネームは「\*\*\*\*\*」に戻りません。

## 録音後のクオンタイズ .....

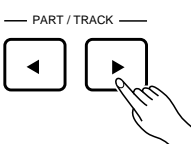
録音時のクオンタイズ同様、録音後にも演奏データをトラック単位でクオンタイズすることができます。



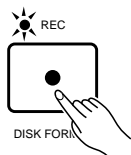
**1** SHIFTボタンを押しながら、STOP ボタンを押します。LCDディスプレイが「Quantize?」（クオンタイズしますか？）画面に切り替わり、REC ランプとSTOP ランプが点滅します。



**2** 録音時のクオンタイズ（P.21参照）同様、TEMPO/VOLUME ▼▲ボタンでクオンタイズのサイズを設定します。



**3** PART/TRACK◀▶ボタンで、クオンタイズするトラックを選択します。



**4** REC ボタンを押すと、クオンタイズが実行されます。STOP ボタンを押すと、クオンタイズは中止されます。実行中はLCDディスプレイに「Quantizing..」が表示されます。終了するとLCDディスプレイは、「Completed」が表示された後、「SONG」表示に戻ります。



### !! 注意

一度クオンタイズを実行すると、録音データは元に戻りません。

## マルチトラック録音

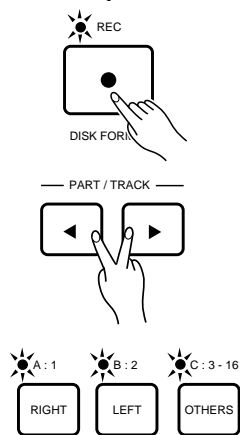
「マルチトラック録音」は、外部機器（コンピューターやシーケンサー、リズムマシンなど）を利用して、複数のトラックを同時に録音する方法です。

マルチトラック録音には、16トラックをすべて同時に録音する方法と、パート（トラック）アサイン機能を利用して、いくつかのトラックを同時に録音する方法の2種類があります。

### メモ

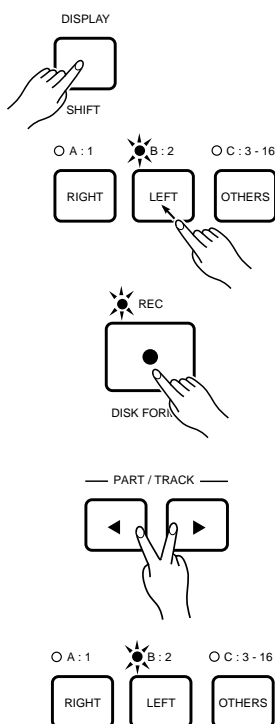
マルチトラック録音時、本機の1~16トラックは、そのままMIDIの1~16チャンネルに対応しています。本機に演奏データを送信する外部機器の「MIDI送信チャンネル」を1~16チャンネルに振り分けてください。

### 全トラック（1~16トラック）の同時録音 .....



- 1** 通常の録音方法と同様に、REC ボタンを押して、トラックの選択状態にします。
- 2** PART/TRACK◀▶ボタンを同時に押すと、全トラックが同時に選択され、マルチトラック録音待機状態になります。この時、RIGHT/A、LEFT/B、OTHERS/Cボタン上のランプ [ オレンジ ] が点灯します。
- 3** 通常の録音方法と同様に、録音をスタート/ストップします。

### いくつかのトラックの同時録音 .....

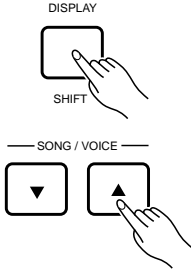


- 1** パート（トラック）アサイン機能（P.17参照）を使用して、RIGHT/A、LEFT/B、OTHERS/Cボタンのいずれかに、複数のトラックをアサインします。
- 2** 通常の録音方法と同様に、REC ボタンを押して、トラックの選択状態にします。
- 3** 複数のトラックをアサインしたRIGHT/A、LEFT/B、OTHERS/Cボタンのいずれかを押した後、PART/TRACK◀▶ボタンを同時に押すと、そのボタンにアサインした全トラックが選択され、マルチトラック録音待機状態になります。この時、RIGHT/A、LEFT/B、OTHERS/Cボタンいずれかの上のランプ [ オレンジ ] が点灯します。
- 4** 通常の録音方法と同様に、録音をスタート/ストップします。

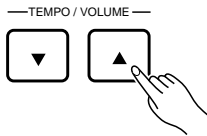
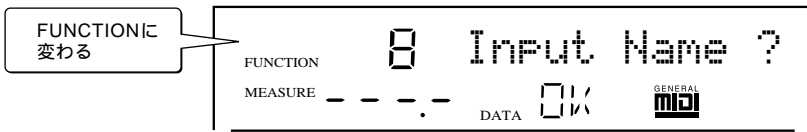
# 録音してみましょう

## ソングネームの変更

録音が終了すると、ソングネームが自動的に付けられますが（LCDディスプレイに「Song No.01」などを表示）、そのネームを変更することができます。（12文字まで使用できます）



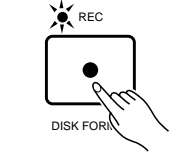
- 1 停止中にDISPLAYボタンを約3秒間押し続けると、LCDディスプレイはプレイファンクションに切り替わります。
- 2 SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションのナンバー8を選択すると、LCDディスプレイに「Input Name ?」（ネームを付けますか？）が表示されます。（すでにネームが付いている場合は「Rename ?」（ネームを変更しますか？）が表示されます。）



- 3 TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押すと、ソングネームの下にカーソルが表示されます。
- 4 SONG/VOICE▼▲ボタンで、変更したい文字の下にカーソルを移動し、TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで文字を選択します。



新しいネーム  
カーソル



- ネームを変更するとREC ランプとSTOP ランプが点滅します。
- 5 REC ボタンを押すと新しいソングネームがフロッピーディスクに記録され、STOP ボタンを押すとソングネームの変更は中止されます。LCDディスプレイは「SONG」表示に戻ります。

### メモ

ソングネームを変更することができるのは、本機で録音したソングだけです。

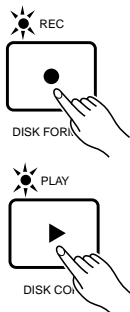
### [使用できる文字]

(スペース) !"#%&'()\*+  
,-./0123456789:;<=>  
?@ABCDEFGHIJKLMNPOQR  
STUVWXYZ[\*]^\_`abcdef  
ghijklmnopqrstuvwxy  
z{|}~`  
「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」  
「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」  
「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」  
「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」  
「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」・「」

## バルクダンプの記録

電子楽器・シーケンサーなど外部機器には、その機器の各種セットアップを送信する「バルクダンプ送信」機能を持っているものがあります。本機ではそのバルクダンプデータを受信して記録することができます。

本機に曲ごとのバルクダンプデータを記録しておき、バルクデータを送信すれば、外部機器のセットアップが瞬時に切り替わり、大変便利です。



- 1 通常の録音方法と同様に、ソングナンバーを選択し、REC ボタンを押して、トラックの選択状態にします。
- 2 PLAY▶ ボタンを押すと、バルクダンプの記録を開始します。
- 3 外部機器からバルクダンプデータを送信します。
- 4 STOP ボタンを押すと、バルクダンプの記録が終了します。

### メモ

バルクダンプの記録中は、STOP ボタン以外受け付けません。

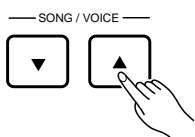
STOP ボタンを押した時に、バルクダンプを受信中だった場合は、STOP ランプが点滅し受信中であることを知らせ、「F7: End of Exclusive」データを受信するまで記録を続けます。受信が終了するとランプは消灯します。記録を中止する場合は、もう一度STOP ボタンを押してください。

# ソングデータの管理について

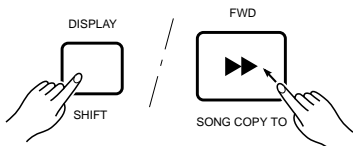
この項では、録音したソングデータをコピー（複製）したり、不要になったソングデータをデリート（削除）したり、フロッピーディスク全体をコピーする方法を説明します。ソングデータの管理に役立ててください。

## ソングコピー

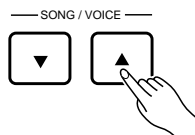
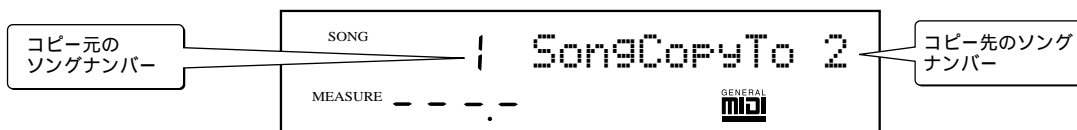
あるソングデータをコピーして保管したり、そのデータをアレンジして新しいデータを作りたい場合に便利な機能です。



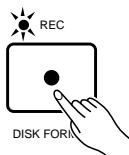
**1** SONG/VOICE▼▲ボタンを押して、コピーしたいソングを選択します。



**2** SHIFTボタンを押しながら、SONG COPY TO▶▶ボタンを押すと、LCDディスプレイが「ソングコピー」表示に切り替わり、REC ランプとSTOP ランプが点滅します。

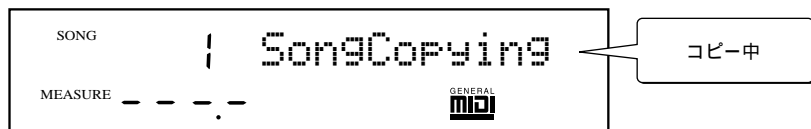


**3** SONG/VOICE▼▲ボタン、またはTEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、コピー先のソングナンバーを選択します。



**4** REC ボタンを押すとコピーが実行されます。STOP ボタンを押すとコピーは中止されます。

実行中はLCDディスプレイに「Song Copying」が表示されます。終了するとLCDディスプレイは「Completed」が表示された後、「SONG」表示に戻ります。



### メモ

プロテクトがかかっているミュージックソフトはソングコピーできません。

すでにデータが記録されているソングナンバーは、コピー先として選択できません。

### ヒント

DOCソフトの曲をソングコピーすると、オーケストラやリズムパートだけ（パート1/2以外）がコピーできます。パート1/2を自分で録音して、ライブラリーを作ってみましょう。一度ソングコピーしたDOCソングデータを、別のフロッピーディスクにもう一度ソングコピーすることはできません。

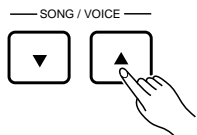
### メモ

ソングデータが60曲記録されているディスクでソングコピーしようするとLCDディスプレイに「No Empty Song」が表示されます。この場合は別のフロッピーディスクにソングコピーしてください。

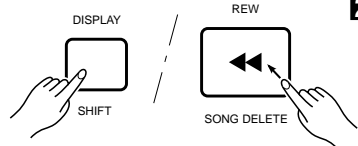
別のフロッピーディスクにコピーしたい場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、コピー先のソングナンバーを選択してから、REC ボタンを押します。その後の操作は、ディスクコピー（P.28）を参考に、LCDディスプレイの指示に従ってください。

## ソングデリート

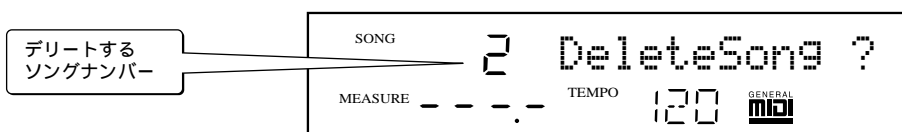
不要になったソングデータを削除する機能です。



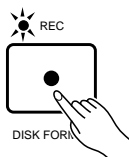
**1** SONG/VOICE▼▲ボタンを押して、デリートしたいソングを選択します。



**2** SHIFTボタンを押しながら、SONG DELETE◀◀ボタンを押すと、LCDディスプレイが「DeleteSong?」（ソングをデリートしますか?）表示に切り替わり、REC ランプとSTOP ランプが点滅します。



デリートするソングナンバー

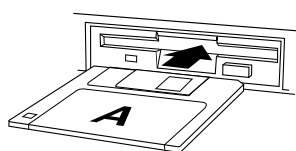


**3** REC ボタンを押すとデリートが実行されます。STOP ボタンを押すとデリートは中止されます。

実行中はLCDディスプレイに「Deleting...」が表示され、終了すると「SONG」表示に戻ります。

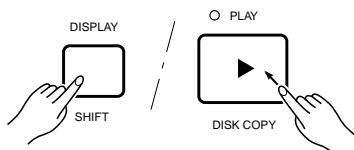
## ディスクコピー

フロッピーディスク全体（A）を、別のフロッピーディスク（B）にコピーする機能です。

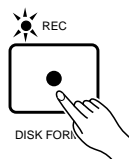


**1** コピーしたいフロッピーディスク（A）のライトプロテクトをONにします。（P.2参照）

**2** コピーしたいフロッピーディスク（A）をディスク挿入口に挿入します。



**3** SHIFTボタンを押しながら、DISK COPY▶ボタンを押すと、LCDディスプレイが「DiskCopyAtoB」表示に切り替わり、REC ランプとSTOP ランプが点滅します。



**4** REC ボタンを押すとディスクコピーが実行されます。STOP ボタンを押すとディスクコピーは中止されます。

ディスクコピーが始まると、LCDディスプレイにまず「NowReading A」が表示され、フロッピーディスク（A）のデータを本体に読み込みます。



コピーの進行状況

### メモ

プロテクトがかかっているミュージックソフトはソングデリートできません。

### メモ

ディスクの入れ替えを間違えてコピー元のディスク（A）のデータを壊さないように、ディスクコピーを行う前に、ディスク（A）のライトプロテクトをONにしておきましょう。（1参照）

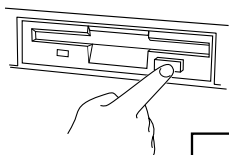
プロテクトがかかっているミュージックソフトはディスクコピーできません。

ディスクコピーをする前に、コピー先のフロッピーディスクに大切なデータが入っていないか、確認してください。

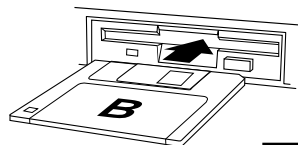
コピー先のフロッピーディスクがフォーマットされていない場合、P.18のフォーマット操作を、ディスクコピーの手順の中で行ってください。

### メモ

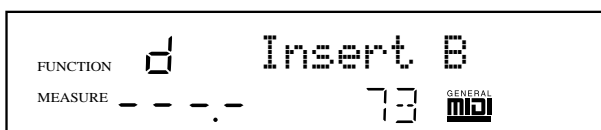
読み込み中 / 書き込み中は、LCDディスプレイに数値（「80」→「0」）が表示され、コピーの進行状況をカウントダウンします。



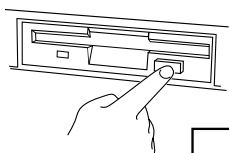
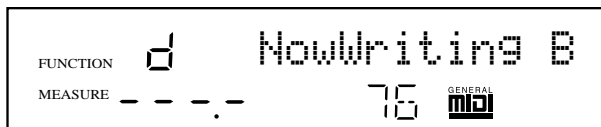
- 5** フロッピーディスク (A) のデータの読み込みが終了すると、LCDディスプレイに「Eject A」が表示されます。イジェクトボタンを押して、フロッピーディスク (A) を取り出してください。



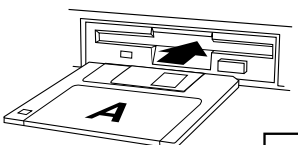
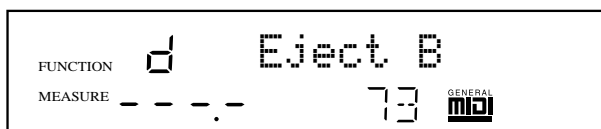
- 6** フロッピーディスク (A) を取り出すと、LCDディスプレイに「Insert B」が表示されます。コピー先のフロッピーディスク (B) をディスク挿入口に挿入してください。



- 7** コピー先のフロッピーディスク (B) をディスク挿入口に挿入すると、LCDディスプレイに「NowWriting B」を表示して、本体に読み込んだフロッピーディスク (A) のデータをフロッピーディスク (B) に自動的に書き込みます。



- 8** フロッピーディスク (B) の書き込みが終了すると、LCDディスプレイに「Eject B」が表示されます。イジェクトボタンを押して、フロッピーディスク (B) を取り出してください。



- 9** フロッピーディスク (B) を取り出すと、LCDディスプレイに「Insert A」が表示されます。コピー元のフロッピーディスク (A) をディスク挿入口に挿入してください。



- 10** コピー元のフロッピーディスク (A) をディスク挿入口に挿入すると、(A) のデータを本体に読み込みます。LCDディスプレイの指示にしたがって、表示が「0」になるまで **5 6 7 8 9** の操作を繰り返します。

- 11** ディスクコピーが終了すると、LCDディスプレイは「Completed」を表示して、ディスクコピーが終了したことを知らせた後、「SONG」表示に戻ります。

**メモ**

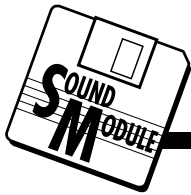
読み込み中 / 書き込み中に STOP ボタンを押すとLCDディスプレイに「Copy Canceled」が表示され、ディスクコピーが中止されます。

**メモ**

ディスクのデータ量によっては、フロッピーディスクの入れ替えを10回以上行う場合があります。LCDディスプレイの指示に従ってください。

**!! 注意**

LCDディスプレイの指示をしっかりと確認しながら、A、Bディスクを間違えないように入れ替えてください。ディスクを間違えると2つのデータが混ざり、データが壊れてしまったり、ディスクエラーを起こす場合があります。



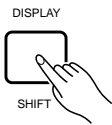
# 音源として使ってみましょう

リアパネルのMIDI端子を利用して、コンピューターやシーケンサー、MIDIキーボードなどの外部機器から演奏情報を受信すれば、本機を音源（GM、またはDOC）として使用することができます。

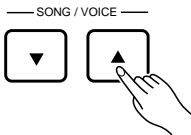
GM音源は128音色 + 8ドラムキット、DOC音源は61音色 + 1ドラムキットを最大同時発音数32音の範囲で鳴らすことができます。

外部機器を接続し、音源の種類（GM/DOC：下記参照）を選択して、鳴らしてみましよう。

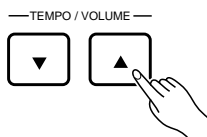
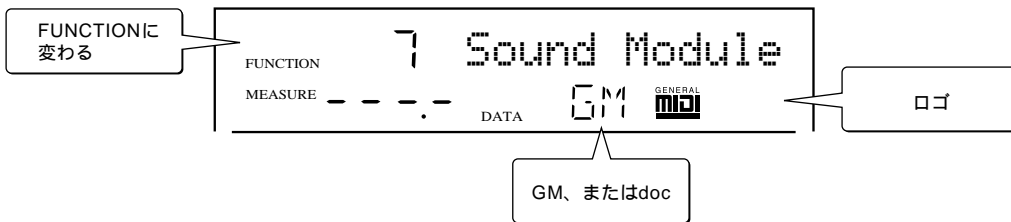
## 音源の選択（GM / DOCの切り替え） .....



停止中 / 再生中に、DISPLAYボタンを約3秒間押し続けると、LCDディスプレイはプレイファンクションに切り替わります。



SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクション7「Sound Module」を選択します。



現在選択されている音源が、LCDディスプレイに表示されます。TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、「GM」「doc」のいずれかの音源モードを選択します。

### 「GM」 ..... General MIDI音源

「GMシステムレベル1」の規格に対応した音源です。GMシステムレベル1で規定されていない拡張部分においても、ヤマハのポータートーンやクラビノーバのGMモードと互換性があります。（一部機種を除く）

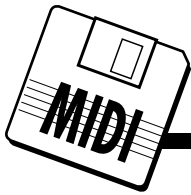
### 「doc」 ..... DOC（Disk Orchestra Collection）音源

ヤマハDOC（ディスクオーケストラコレクション）用の音色配列を持った音源モードです。DOCデータを扱う場合に適しています。

### メモ

音源を選択できるのは、ディスクが挿入されていない時、または、選んだソングナンバーに録音データが記録されていない時（LCDディスプレイに「\*\*\*\*\*」を表示）だけです。





# MIDIについて

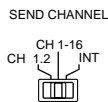
本機のリアパネルにはMIDI端子 (MIDI IN、MIDI OUT) がついています。この項ではMIDI関連のセッティングについて説明します。

## MIDIとは.....

MIDI (ミディ) とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし (または、電子ピアノ (クラビノーバなど)、シンセサイザー、コンピューターなどと) で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器 (機器) をケーブルで接続すれば、機器間で様々な演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

## MIDI送信チャンネルの設定 .....

1 ~ 16チャンネルの演奏情報を、MIDI送信して外部機器の音源を鳴らすか、MIDI送信せずに本機の内部音源で発音するかを設定します。



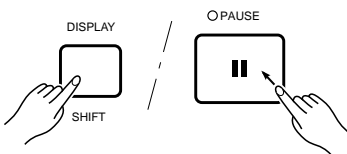
リアパネルのSEND CHANNELスイッチを切り替えます。

CH 1, 2..... チャンネル1, 2の演奏情報を外部機器に出力し、その他のチャンネルは本機の内部音源で発音します。

CH 1-16 ..... 全チャンネル (1-16) の演奏情報を外部機器に出力し、本機の内部音源は発音しません。

INT ..... 全チャンネル (1-16) の演奏情報を本機の内部音源で発音し、外部機器に出力しません。

## MIDIファンクション .....



録音 / 再生ストップ中に、SHIFTボタンを押しながら、PAUSE **||** ボタンを押すと、LCDディスプレイはMIDIファンクションに切り替わります。

### クロックの設定

本機のクロックを外部機器に同期させるかさせないかを設定します。

INT (内部同期) 本機の内部クロックで作動します。

EXT (外部同期) MIDIケーブルで接続した外部機器のクロックで作動します。

SONG/VOICE **▼▲** ボタンで、ファンクションナンバー1を選択します。



TEMPO/VOLUME **▼▲** ボタンで、「INT」または「EXT」を選択します。

### メモ

初期設定は「CH 1, 2」です。  
システムリアルタイムメッセージはMIDI送信チャンネルの設定に関わらず送信されますが、システムエクスクルーシブメッセージは「INT」に設定した場合、送信されません。

### メモ

「EXT」に設定すると、本機でテンポのコントロールができなくなります。LCDディスプレイが「SONG」表示の場合は、テンポを表示する代わりに「EXT」を表示します。デフォルト (初期設定) は「INT」です。

スタート/コンティニュー/ストップメッセージの受信設定

スタート (FA) / コンティニュー (FB: 一時停止解除) / ストップ (FC) メッセージを受信して、外部機器で本機をリモート操作するかどうかを設定します。

ON ..... MIDIケーブルで接続した外部機器で、本機をリモート操作できます。

OFF ... 本機をリモート操作できません。

SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー2を選択します。



TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで、「ON」または「OFF」を選択します。

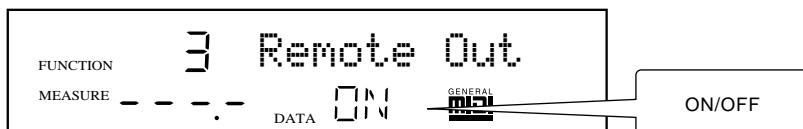
スタート/コンティニュー/ストップメッセージの送信設定

スタート (FA) / コンティニュー (FB: 一時停止解除) / ストップ (FC) メッセージを送信して、本機で外部機器をリモート操作するかどうかを設定します。

ON ..... MIDIケーブルで接続した外部機器を、本機でリモート操作できます。

OFF ... 外部機器をリモート操作できません。

SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー3を選択します。



TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで、「ON」または「OFF」を選択します。

MIDIスルーの設定

MIDI INから受信した演奏データを、MIDI OUTから送信するかどうかを「MIDIスルー」で設定します。MIDIスルーを「ON」に設定すれば、複数のMIDI機器を接続して同時に使用することができます。

SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー4を選択します。



TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで、「ON」または「OFF」を選択します。

メモ

デフォルト (初期設定) は「ON」です。

メモ

外部機器を本機でリモート操作する場合、本機の設定を「ON」にし、さらに外部機器の受信設定を「ON」にする必要があります。

デフォルト (初期設定) は「ON」です。

メモ

デフォルト (初期設定) は「OFF」です。

MIDI INとMIDI OUTを同じ外部機器に接続し、MIDIスルーを「ON」に設定すると、外部機器で同じ音程で2音発音することがあります。この場合は外部機器を「ローカルオフ」に設定してください。

32バイト (byte) を越えるデータ (バルクdumpデータなど) は正しく送信 (スルー) できないことがあります。

MIDIスルーを「ON」に設定すると、本機のMIDIデータに加えて、MIDI INから受信したデータをMIDI OUTから送信することになります。

## フィルターの設定

MIDIメッセージを送受信するかどうか（フィルターをかけるかどうか）をMIDIメッセージ別に設定します。

ON ..... そのMIDIデータを送受信します。

OFF ... そのMIDIデータを送受信しません。

SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー5～14を選択します。

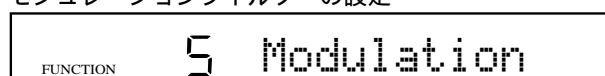
TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで、「ON」または「OFF」を選択します。



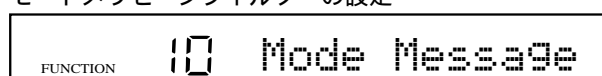
デフォルト（初期設定）は、アフタータッチフィルターだけ「OFF」で、それ以外のすべてのフィルターが「ON」です。

フィルター設定が「OFF」の場合でも、ディスクに記録されているメッセージに従って、本体の音源設定は変更されません。

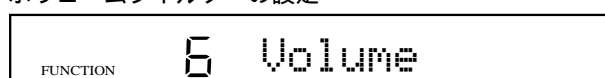
### モジュレーションフィルターの設定



### モードメッセージフィルターの設定



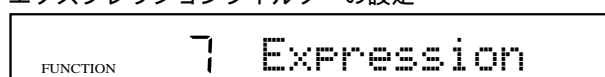
### ボリュームフィルターの設定



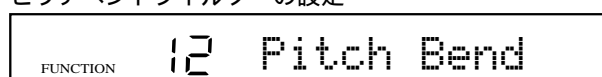
### プログラムチェンジフィルターの設定



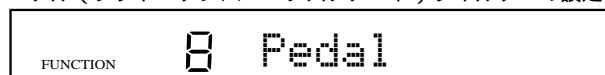
### エクスプレッションフィルターの設定



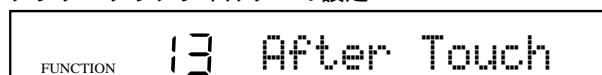
### ピッチベンドフィルターの設定



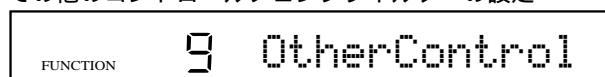
### ペダル（ソフト/ダンパー/ソステヌート）フィルターの設定



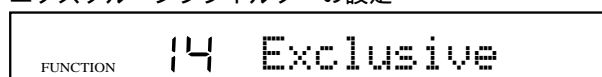
### アフタータッチフィルターの設定



### その他のコントロールチェンジフィルターの設定



### エクスクルーシブフィルターの設定



## MIDIトランスポーズの設定

MIDI INからの入力データの音程を、±6半音（±半オクターブ）の範囲で調整することができます。

SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー15を選択します。



TEMPO/VOLUME▼▲ボタンを押して、±6半音の範囲で設定します。

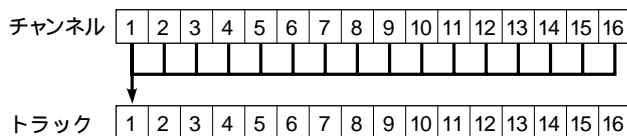


デフォルト（初期設定）は「0」です。

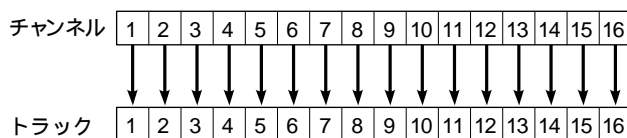
TEMPO/VOLUME▼▲ボタンの同時押しで、デフォルトの「0」に戻ります。

**MIDI受信モードの設定** MIDI INから入ってくるすべてのチャンネルの情報を、現在選択しているパート（トラック）で受信するかどうかを設定します。

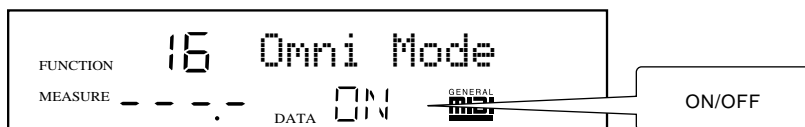
**ON** ..... すべてのチャンネル情報を現在選択しているパートで受信します。録音時はどのチャンネル情報でも受信し、現在選択しているトラックに記録します。



**OFF** ..... チャンネル情報を対応するパート（チャンネルナンバー＝パートナンバー）で受信します。録音時は指定したチャンネル＝トラックに記録します。



SONG/VOICE▼▲ボタンで、ファンクションナンバー16を選択します。



TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで、「ON」または「OFF」を選択します。

**メモ**

デフォルト（初期設定）は「ON」です。

## デモ曲リスト (付属ディスク)

Song No.	曲名	出典	データのタイプ
1	SAY YES	CMC-101 JAPAN POP	GM
2	紫のけむり	CMC-102 VINTAGE ROCK on GUITAR	GM
3	愛しのレイラ	CMC-102 VINTAGE ROCK on GUITAR	GM
4	男が女を愛する時	CMC-103 POP ARTIST	GM
5	バードランド	CMC-105 JAZZ & FUSION SPECIAL	GM
6	バック・トゥ・ザ・フューチャー	CMC-106 FILM COMPOSER	GM
7	イエロー・サブマリン	CMC-109 Beatles Forever 《REMIX》	GM
8	アロ・ン・アゲイン	ピアノ・ア・ラ・モード Vol. 4	DOC
9	世界中の誰よりきっと <PartII>	ピアノ・ア・ラ・モード Vol. 5	DOC
10	未来予想図	ピアノ・ア・ラ・モード Vol. 6	DOC
11	別れの曲 (ショパン)	DOC Classic DO-104R 別れの曲	DOC
12	交響曲第40番 (モーツァルト)	DOC Classic DO-109 クラシックテーマ7	DOC
13	酒とバラの日々	DOC Jazz DO-210R 酒とバラの日々	DOC
14	マイ・ファニー・バレンタイン	DOC Jazz DO-225 ジャズ・ピアノ2	DOC
15	ハード・デイズ・ナイト	DOC Popular DO-203R イエスタディ	DOC
16	渚のアデリ - ヌ	DOC Popular DO-245D リチャード・クレイダーマンベスト曲集	DOC
17	ハッピー・クリスマス	DOC Popular DO-406 クリスマス・イブ	DOC
18	君がいるだけで	DOC Popular DO-602 君がいるだけで	DOC
19	霧のレイクルイーズ	DOC Popular DO-604 霧のレイクルイーズ	DOC
20	ラブレター	DOC Screen DO-204R ゴッドファ・ザ・愛のテーマ	DOC
21	ドレミの歌	DOC Screen DO-207R サウンド・オブ・ミュージック	DOC
22	ミッキーマウス・マーチ	DOC Family DO-201 ディズニー名曲集	DOC
23	となりのトトロ	DOC Family DO-407 ととなりのトトロ	DOC
24	セーラームーンよりムーンライト伝説	DOC Family DO-411 クレヨンしんちゃん	DOC
25	枯葉 (上級編)	DOC Method DO-211R C・ジャム・ブルース	DOC
26	バイエル32番	DOC Method DO-302 バイエル コンチェルト	DOC
27	ドラゴンクエストIIIよりロトのテーマ	DOC Method DO-802 リズムをおぼえましょう	DOC
28	卒業写真	DOC 弾き語り DO-504D 松任谷由実	DOC
29	涙のキッス	DOC 弾き語り DO-551 サザンオールスターズ2	DOC
30	PIECE OF MY WISH	DOC 弾き語り DO-553 今井美樹	DOC

上記の曲はいずれも元データからの抜粋です。

CMC (コンピュータ・ミュージック・コレクション)、ピアノ・ア・ラ・モード、DOC (ディスク・オーケストラ・コレクション) は、有名楽器店、ヤマハ各店にて、お求めください。

## ヤマハ ミュージック・ソフトのご紹介

DOC (ディスクオーケストラコレクション) ソフト ..... 各巻 ¥3,000 ~ 5,000

クラシック、ジャズ、ポピュラー、レッスンソフトなど、フルオーケストラの鑑賞から基本レッスン、弾き語りまで多彩なバリエーションが楽しめます。

ピアノプレーヤソフト ..... アーティスト・シリーズ 各巻 ¥5,500 ~ / リスニング・シリーズ 各巻 ¥4,000 ~

ピアノソロや連弾などを豊富に取り揃えています。一流ピアニストの演奏を華麗に再生したり練習に活用したりできます。

表示の価格には、消費税は含まれていません。

ピアノ・ア・ラ・モード (発売元: 財団法人ヤマハ音楽振興会) ..... 各巻 ¥1,854 ~ 1869 (税込み価格)

ニューミュージック系のヒット曲を中心にピアノ演奏が楽しめるディスク & ブック。やさしい解説とサポート演奏で、ヒット曲を楽しみながらマスターできます。

## ボイスリスト (GM/DOC)

本機の最大同時発音数は32音です。ボイスの中には2音を使って作られているものがあり、これらは1音の発音が2音の発音に相当します。各ボイスごとの使用発音数はリストの「発音数」の欄を参照してください。

## GMボイスリスト

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	発音数	ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	発音数
Piano (ピアノ)				46	45	Pizzicato Strings (ピチカートストリングス)	1
01	0	Acoustic Grand Piano (グランドピアノ)	1	47	46	Orchestral Harp (ハーブ)	1
02	1	Bright Acoustic Piano (ブライトピアノ)	1	48	47	Timpani (ティンパニ)	1
03	2	Electric Grand Piano (エレクトリックグランドピアノ)	2	Ensemble (アンサンブル)			
04	3	Honky-tonk Piano (ホンキートンクピアノ)	2	49	48	Strings Ensemble 1 (ストリングスアンサンブル1)	1
05	4	Electric Piano 1 (エレクトリックピアノ1)	2	50	49	Strings Ensemble 2 (ストリングスアンサンブル2)	1
06	5	Electric Piano 2 (エレクトリックピアノ2)	2	51	50	Synth Strings 1 (シンセストリングス1)	2
07	6	Harpichord (ハーブシコード)	1	52	51	Synth Strings 2 (シンセストリングス2)	2
08	7	Clavi (クラビ)	1	53	52	Choir Aahs (クワイア アー)	1
Chromatic Percussion (クロマチックパーカッション)				54	53	Voice Oohs (ボイス ウー)	1
09	8	Celesta (チェレスタ)	1	55	54	Synth Voice (シンセボイス)	1
10	9	Glockenspiel (グロッケンシュピール)	1	56	55	Orchestra Hit (オーケストラヒット)	1
11	10	Music Box (ミュージックボックス)	2	Brass (ブラス)			
12	11	Vibraphone (ビブラフォン)	1	57	56	Trumpet (トランペット)	1
13	12	Marimba (マリンバ)	1	58	57	Trombone (トロンボーン)	1
14	13	Xylophone (シロフォン)	1	59	58	Tuba (チューバ)	1
15	14	Tubular Bells (チューブラーベル)	1	60	59	Muted Trumpet (ミュートトランペット)	1
16	15	Dulcimer (ダルシマー)	2	61	60	French Horn (フレンチホルン)	1
Organ (オルガン)				62	61	Brass Section (ブラスセクション)	1
17	16	Drawbar Organ (ドローバーオルガン)	2	63	62	Synth Brass 1 (シンセブラス1)	2
18	17	Percussive Organ (パーカッシブオルガン)	2	64	63	Synth Brass 2 (シンセブラス2)	2
19	18	Rock Organ (ロックオルガン)	2	Reed (リード)			
20	19	Church Organ (チャーチオルガン)	2	65	64	Soprano Sax (ソプラノサクス)	1
21	20	Reed Organ (リードオルガン)	1	66	65	Alto Sax (アルトサクス)	1
22	21	Accordion (アコーディオン)	2	67	66	Tenor Sax (テナーサクス)	1
23	22	Harmonica (ハーモニカ)	1	68	67	Baritone Sax (バリトンサクス)	1
24	23	Tango Accordion (バンドネオン)	2	69	68	Oboe (オーボエ)	1
Guitar (ギター)				70	69	English Horn (イングリッシュホルン)	1
25	24	Acoustic Guitar (nylon) (ガットギター)	1	71	70	Bassoon (バスーン)	1
26	25	Acoustic Guitar (steel) (フォークギター)	1	72	71	Clarinet (クラリネット)	1
27	26	Electric Guitar (jazz) (ジャズギター)	1	Pipe (パイプ)			
28	27	Electric Guitar (clean) (エレクトリックギター)	1	73	72	Piccolo (ピッコロ)	1
29	28	Electric Guitar (muted) (ミュートギター)	1	74	73	Flute (フルート)	1
30	29	Overdriven Guitar (オーバードライブギター)	1	75	74	Recorder (リコーダー)	1
31	30	Distortion Guitar (ディストーションギター)	1	76	75	Pan Flute (パンフルート)	1
32	31	Guitar Harmonics (ギターハーモニクス)	1	77	76	Blown Bottle (ボトル)	2
Bass (ベース)				78	77	Shakuhachi (尺八)	1
33	32	Acoustic Bass (アコースティックベース)	1	79	78	Whistle (ホイッスル)	1
34	33	Electric Bass (finger) (エレクトリックベース)	1	80	79	Ocarina (オカリナ)	1
35	34	Electric Bass (pick) (ピックベース)	1	Synth Lead (シンセリード)			
36	35	Fretless Bass (フレットレスベース)	1	81	80	Lead 1 (square) (矩形波リード)	2
37	36	Slap Bass 1 (スラップベース1)	1	82	81	Lead 2 (sawtooth) (ノコギリ波リード)	2
38	37	Slap Bass 2 (スラップベース2)	1	83	82	Lead 3 (calliope) (カリオペリード)	2
39	38	Synth Bass 1 (シンセベース1)	1	84	83	Lead 4 (chiff) (チフリード)	2
40	39	Synth Bass 2 (シンセベース2)	1	85	84	Lead 5 (charang) (チャランリード)	2
Strings (ストリングス)				86	85	Lead 6 (voice) (ボイスリード)	2
41	40	Violin (バイオリン)	1	87	86	Lead 7 (fifth) (5度リード)	2
42	41	Viola (ビオラ)	1	88	87	Lead 8 (bass+Lead) (ベース&リード)	2
43	42	Cello (チェロ)	1	Synth Pad (シンセパッド)			
44	43	Contrabass (コントラバス)	1	89	88	Pad 1 (new age) (ニューエイジパッド)	2
45	44	Tremolo Strings (トレモロストリングス)	1	90	89	Pad 2 (warm) (ウォームパッド)	2

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	発音数
91	090	Pad 3 (polysynth) (ポリシンセパッド)	2
92	091	Pad 4 (choir) (クワイアパッド)	2
93	092	Pad 5 (bowed) (ボウパッド)	2
94	093	Pad 6 (metallic) (メタリックパッド)	2
95	094	Pad 7 (halo) (ヘイロパッド)	2
96	095	Pad 8 (sweep) (スイープパッド)	2
Synth Effects (シンセエフェクト)			
97	096	FX 1 (rain) (雨)	2
98	097	FX 2 (soundtrack) (サウンドトラック)	2
99	098	FX 3 (crystal) (クリスタル)	2
100	099	FX 4 (atmosphere) (アトモスフィア)	2
101	100	FX 5 (brightness) (ブライトネス)	2
102	101	FX 6 (goblins) (ゴブリン)	2
103	102	FX 7 (echoes) (エコー)	2
104	103	FX 8 (sci-fi) (SF)	2
Ethnic (エスニック)			
105	104	Sitar (シタール)	1
106	105	Banjo (バンジョー)	1
107	106	Shamisen (三味線)	1
108	107	Koto (琴)	1
109	108	Kalimba (カリンバ)	1

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	発音数
110	109	Bagpipe (バグパイプ)	2
111	110	Fiddle (フィドル)	1
112	111	Shanai (シャナイ)	1
Percussive (パーカッシブ)			
113	112	Tinkle Bell (ティンクルベル)	2
114	113	Agogo (アゴゴ)	1
115	114	Steel Drums (スチールドラム)	1
116	115	Woodblock (ウッドブロック)	1
117	116	Taiko Drum (和太鼓)	1
118	117	Melodic Tom (メロディックタム)	1
119	118	Synth Drum (シンセドラム)	1
120	119	Reverse Cymbal (リバースシンバル)	1
Sound Effects (サウンドエフェクト)			
121	120	Guitar Fret Noise (フレットノイズ)	1
122	121	Breath Noise (ブレスノイズ)	1
123	122	Seashore (海辺)	2
124	123	Bird Tweet (鳥のさえずり)	2
125	124	Telephone Ring (電話のベル)	1
126	125	Helicopter (ヘリコプター)	2
127	126	Applause (拍手)	2
128	127	Gunshot (銃声)	1

## DOCボイスリスト

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	発音数
1	12	Piano (ピアノ)	1
2	48	Piano-Mild (ピアノ・マイルド)	1
3	51	Piano-Bright (ピアノ・ブライト)	1
4	13	E.Piano 1 (エレクトリックピアノ1)	1
5	50	E.Piano 2 (エレクトリックピアノ2)	1
6	14	Harpsichord (ハープシコード)	1
7	15	Celesta (チェレスタ)	1
8	16	Vibes (バイブ)	1
9	17	Marimba (マリンバ)	1
10	11	Jazz Organ 1 (ジャズオルガン1)	1
11	82	Jazz Organ 2 (ジャズオルガン2)	2
12	10	Full Organ (フルオルガン)	1
13	76	Pipe Organ (パイプオルガン)	1
14	7	Accordion (アコーディオン)	1
15	41	Harmonica (ハーモニカ)	1
16	24	Gut Guitar (ガットギター)	1
17	53	Folk Guitar (フォークギター)	1
18	25	Jazz Guitar 1 (ジャズギター1)	1
19	72	Jazz Guitar 2 (ジャズギター2)	1
20	26	Rock Guitar 1 (ロックギター1)	1
21	69	Rock Guitar 2 (ロックギター2)	1
22	70	Mute Guitar (ミュートギター)	1
23	88	Distortion Guitar (ディストーションギター)	1
24	55	Banjo (バンジョー)	1
25	28	Upright Bass (アップライトベース)	1
26	71	Upright Bass-Mild (アップライトベース・マイルド)	1
27	29	E.Bass (エレクトリックベース)	1
28	30	E.Bass with Slap (スラップつきエレクトリックベース)	2
29	78	E.Bass-Heavy (エレクトリックベース・ヘビー)	1
30	31	Synth Bass (シンセベース)	1
31	9	Violin (バイオリン)	1

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	発音数
32	75	Violin-Hard (バイオリン・ハード)	1
33	8	Strings (ストリングス)	1
34	74	Strings-Mild (ストリングス・マイルド)	1
35	81	Chamber Strings (チェンバーストリングス)	1
36	45	SynthStrings (シンセストリングス)	1
37	56	Pizzicato (ピチカート)	1
38	57	Harp (ハープ)	1
39	23	Timpani (ティンパニ)	1
40	42	Choir (クワイア)	1
41	46	Synth Choir (シンセクワイア)	1
42	92	Orchestra Hit (オーケストラヒット)	1
43	1	Trumpet (トランペット)	1
44	40	Mute Trumpet (ミュートトランペット)	1
45	2	French Horn (フレンチホルン)	1
46	0	Brass (ブラス)	1
47	73	Pop Brass (ポップブラス)	1
48	20	Synth Brass (シンセブラス)	1
49	3	Sax (サクソ)	1
50	77	Sax-Mild (サクソ・マイルド)	1
51	5	Oboe (オーボエ)	1
52	80	Bassoon (バスーン)	1
53	4	Clarinet (クラリネット)	1
54	6	Flute 1 (フルート1)	1
55	79	Flute 2 (フルート2)	1
56	44	Synth Wood (シンセウッド)	1
57	22	Synth Crystal (シンセクリスタル)	1
58	89	Cosmic 1 (コズミック1)	2
59	90	Cosmic 2 (コズミック2)	1
60	91	Cosmic 3 (コズミック3)	2
61	68	Clavinova (クラビノーバトーン)	1
-	126	Drums (ドラムス)	1

## ドラムキットリスト (GM/DOC)

Note #	DOCキット	GMキット		
		スタンダードキット	ルームキット	ロックキット
21	A-1	シンバル ミュート	—	—
22	A#-1	—	—	—
23	B-1	—	—	—
24	C0	—	クリック (スクエアウェーブ)	<---
25	C#0	—	ブラッシュ タップ	<---
26	D0	—	ブラッシュ スワール	<---
27	D#0	—	ブラッシュ スラップ	<---
28	E0	—	ブラッシュ スワール ウィズ アタック	<---
29	F0	—	スネア ロール	<---
30	F#0	ブラッシュ ロール	カスタネット	<---
31	G0	—	スネア ハイソフト	スネア ルーム ロー
32	G#0	ハイハット クローズ ヘビー	スティックス	<---
33	A0	—	バスドラム ハイ ソフト	バスドラム ルーム ロー
34	A#0	クラッシュシンバル ライト	オープン リムショット	<---
35	B0	バスドラム ライト	バスドラム ロー	バスドラム ロック ミッド
36	C1	スネア リム ヘビー	バスドラム ハイ ハード	バスドラム ルーム ハイ
37	C#1	ライドシンバル カップ	クローズ リムショット	<---
38	D1	スネア リム ライト	スネア ロー	スネア ルーム ミッド
39	D#1	—	ハンドクラップ	<---
40	E1	—	スネア ハイ ハード	スネア ルーム ハイ
41	F1	バスドラム ノーマル	フロアタム ロー	ルーム タム1
42	F#1	クローズ リムショット	ハイハット クローズ	<---
43	G1	スネア ヘビー	フロアタム ハイ	ルーム タム2
44	G#1	ブラッシュ ショット	ハイハット ベダル	<---
45	A1	スネア ライト	ロータム	ルーム タム3
46	A#1	ハイハット ベダル	ハイハット オープン	<---
47	B1	スネア エコー	ミッド タム ロー	ルーム タム4
48	C2	タム4 ロー	ミッド タム ハイ	ルーム タム5
49	C#2	ハイハット クローズ ノーマル	クラッシュシンバル1	<---
50	D2	タム3	ハイ タム	ルーム タム6
51	D#2	ハイハット オープン	ライドシンバル1	<---
52	E2	タム2	チャイニーズシンバル	<---
53	F2	タム1 ハイ	ライドシンバル カップ	<---
54	F#2	ライドシンバル ノーマル	タンバリン	<---
55	G2	エレクトリックタム3 ロー	スブラッシュシンバル	<---
56	G#2	クラッシュシンバル ノーマル	カウベル	<---
57	A2	エレクトリックタム2	クラッシュシンバル2	<---
58	A#2	(クラッシュシンバル ソフト)	ビブラスラップ	<---
59	B2	エレクトリックタム1 ハイ	ライドシンバル2	<---
60	C3	コンガ ロー	ボンゴ ハイ	<---
61	C#3	カバサ	ボンゴ ロー	<---
62	D3	コンガ ハイ	コンガ ハイ ミュート	<---
63	D#3	メトロノーム	コンガ ハイ オープン	<---
64	E3	ボンゴ ハイ	コンガ ロー	<---
65	F3	ティンパレス ロー	ティンパレス ハイ	<---
66	F#3	クラベス	ティンパレス ロー	<---
67	G3	ティンパレス ハイ	アゴゴ ハイ	<---
68	G#3	カスタネット	アゴゴ ロー	<---
69	A3	クイーカ ロー	カバサ	<---
70	A#3	カウベル	マラカス	<---
71	B3	クイーカ ハイ	サンバホイッスル ハイ	<---
72	C4	ハンドクラップ	サンバホイッスル ロー	<---
73	C#4	アゴゴ ロー	ギロ ショート	<---
74	D4	—	ギロ ロング	<---
75	D#4	アゴゴ ハイ	クラベス	<---
76	E4	ボンゴ ロー	ウッドブロック ハイ	<---
77	F4	(クイーカ ロー)	ウッドブロック ロー	<---
78	F#4	タンバリン	クイーカ ハイ ミュート	<---
79	G4	(クラッシュシンバル ソフト)	クイーカ ロー オープン	<---
80	G#4	トライアングル クローズ	トライアングル ミュート	<---
81	A4	(ブラッシュ ロール)	トライアングル オープン	<---
82	A#4	トライアングル オープン	シェイカー	<---
83	B4	—	ジングルベル	<---
84	C5	—	ベルツリー	<---

DOCキットのNote #58, 77, 79, 81のパーカッションを録音し、他の機種 of 音源を使って再生した場合、機種 (クラビノーバCVPシリーズなど) によっては発音しない場合があります。



←は「GMスタンダードキット」と同じ内容であることを表します。

Note #	GMキット				
	エレクトロニックキット	アナログキット	ジャズキット	ブラッシュキット	クラシックキット
21	A-1	←	←	←	←
22	A#-1	←	←	←	←
23	B-1	←	←	←	←
24	C0	←	←	←	←
25	C#0	←	←	←	←
26	D0	←	←	←	←
27	D#0	←	←	←	←
28	E0	リバース シンバル	リバース シンバル	←	←
29	F0	←	←	←	←
30	F#0	ハイキュー	ハイキュー	←	←
31	G0	スネア ゲート ロー	スネア アナログ ロー	←	ブラッシュ スラップ ロー マーチング スネア ロー
32	G#0	←	←	←	←
33	A0	バスドラム ゲート ロー	バスドラム アナログ ロー	←	←
34	A#0	←	←	←	←
35	B0	バスドラム ゲート ミッド	バスドラム アナログ ミッド	←	←
36	C1	バスドラム ゲート ハイ	バスドラム アナログ ハイ	←	←
37	C#1	←	クローズ リムショット アナログ	←	←
38	D1	スネア ゲート ミッド	スネア アナログ ミッド	←	←
39	D#1	←	←	←	←
40	E1	スネア ゲート ハイ	スネア アナログ ハイ	←	←
41	F1	エレクトロニック タム1	アナログ タム1	ジャズ タム1	ブラッシュ タム1 マーチング スネア ハイ ジャズ タム1
42	F#1	←	アナログ ハイハット クローズ ハイ	ジャズ タム1	←
43	G1	エレクトロニック タム2	アナログ タム2	ジャズ タム2	←
44	G#1	←	アナログ ハイハット クローズ ロー	ジャズ タム2	←
45	A1	エレクトロニック タム3	アナログ タム3	ジャズ タム3	←
46	A#1	←	アナログ ハイハット オープン	ジャズ タム3	←
47	B1	エレクトロニック タム4	アナログ タム4	ジャズ タム4	←
48	C2	エレクトロニック タム5	アナログ タム5	ジャズ タム5	←
49	C#2	←	アナログ シンバル	←	←
50	D2	エレクトロニック タム6	アナログ タム6	ジャズ タム6	←
51	D#2	←	←	←	←
52	E2	←	←	←	←
53	F2	←	←	←	←
54	F#2	←	←	←	←
55	G2	←	←	←	←
56	G#2	←	アナログ カウベル	←	←
57	A2	←	←	←	←
58	A#2	←	←	←	←
59	B2	←	←	←	←
60	C3	←	←	←	←
61	C#3	←	←	←	←
62	D3	←	←	←	←
63	D#3	←	←	←	←
64	E3	←	←	←	←
65	F3	←	←	←	←
66	F#3	←	←	←	←
67	G3	←	←	←	←
68	G#3	←	←	←	←
69	A3	←	←	←	←
70	A#3	←	←	←	←
71	B3	←	←	←	←
72	C4	←	←	←	←
73	C#4	←	←	←	←
74	D4	←	←	←	←
75	D#4	←	←	←	←
76	E4	←	←	←	←
77	F4	←	←	←	←
78	F#4	スクラッチ ハイ	スクラッチ ハイ	←	←
79	G4	スクラッチ ロー	スクラッチ ロー	←	←
80	G#4	←	←	←	←
81	A4	←	←	←	←
82	A#4	←	←	←	←
83	B4	←	←	←	←
84	C5	←	←	←	←

## ファンクションチャート

### プレイファンクション

停止中 / 再生中に、DISPLAYボタンを約3秒間押し続けると、LCDディスプレイはプレイファンクションに切り替わります。

ファンクションのナンバー（1~8）は、SONG/VOICE▼▲ボタンで選択し、各ファンクションの設定値は、TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで設定します。もう一度DISPLAYボタンを押すと、LCDディスプレイは「SONG」表示に戻ります。

FUNCTION	1	Disk Trans.	ディスクトランスポーズ	P.15
FUNCTION	2	Tuning	チューニング	P.15
FUNCTION	3	Reverb	リバーブタイプ	P.16
FUNCTION	4	Key Delay	ディレイ	P.16
FUNCTION	5	Touch Change	タッチチェンジ	P.16
FUNCTION	6	Measure/Time	小節 / 時間表示の切り替え	P.18
FUNCTION	7	Sound Module	GM / DOCの切り替え	P.30
FUNCTION	8	Input Name ?	ソングネームの変更	P.26

### MIDIファンクション

録音 / 再生ストップ中に、SHIFTボタンを押しながら、PAUSE■ボタンを押すと、LCDディスプレイはMIDIファンクションに切り替わります。

ファンクションのナンバー（1~16）は、SONG/VOICE▼▲ボタンで選択し、各ファンクションの設定値は、TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで設定します。もう一度SHIFTボタンを押すと、LCDディスプレイは「SONG」表示に戻ります。

FUNCTION	1	Sync Clock	クロックの設定	P.31
FUNCTION	2	Remote In	スタート / コンティニュー / ストップコマンドの受信設定	P.32
FUNCTION	3	Remote Out	スタート / コンティニュー / ストップコマンドの送信設定	P.32
FUNCTION	4	MIDI Thru	MIDIスルーの設定	P.32
FUNCTION	5	Modulation	フィルター [モジュレーション] の設定	P.33
FUNCTION	6	Volume	フィルター [ボリューム] の設定	P.33
FUNCTION	7	Expression	フィルター [エクスプレッション] の設定	P.33
FUNCTION	8	Pedal	フィルター [ペダル (ソフト / ダンパー / ソステヌート)] の設定	P.33
FUNCTION	9	OtherControl	フィルター [その他のコントロールチェンジ] の設定	P.33
FUNCTION	10	Mode Message	フィルター [モードメッセージ] の設定	P.33
FUNCTION	11	Program	フィルター [プログラムチェンジ] の設定	P.33
FUNCTION	12	Pitch Bend	フィルター [ピッチベンド] の設定	P.33
FUNCTION	13	After Touch	フィルター [アフタータッチ] の設定	P.33
FUNCTION	14	Exclusive	フィルター [エクスクルーシブ] の設定	P.33
FUNCTION	15	MIDI Trans.	MIDIトランスポーズの設定	P.33
FUNCTION	16	Omni Mode	MIDI受信モードの設定	P.34

## レコーディングファンクション

録音待機中に、DISPLAYボタンを約3秒間押し続けると、LCDディスプレイはレコーディングファンクションに切り替わります。

ファンクションのナンバー(1,2)は、SONG/VOICE▼▲ボタンで選択し、各ファンクションの設定値は、TEMPO/VOLUME▼▲ボタンで設定します。もう一度DISPLAYボタンを押すと、LCDディスプレイは「SONG」表示に戻ります。

FUNCTION 1	Beat Setting	拍子設定	P.21
FUNCTION 2	Quantizing	録音時のクオンタイズ設定	P.21

## ダイレクトファンクション

SHIFTボタンを押しながら、他のボタンを押すことにより、LCDディスプレイはダイレクトファンクション(d)に切り替わります。

FUNCTION d	FormatDisk ?	SHIFTボタンを押しながら、DISK FORMAT ボタンを押します。 ディスクのフォーマット	P.18
FUNCTION d	DiskCopyAtoB	SHIFTボタンを押しながら、DISK COPY▶ボタンを押します。 ディスクのコピー	P.28
SONG	SongCopyTo	SHIFTボタンを押しながら、SONG COPY TO▶▶ボタンを押します。 ソングのコピー	P.27
SONG	DeleteSong ?	SHIFTボタンを押しながら、SONG DELETE ◀◀ボタンを押します。 ソングのデリート(削除)	P.28
SONG	Quantize?	SHIFTボタンを押しながら、STOP ボタンを押します。 録音後のクオンタイズ	P.24

## エラーメッセージリスト

エラーメッセージは、トラブルの発生を表す重要なメッセージです。エラーが起こると、STOP ランプが点滅し、LCDディスプレイにメッセージを表示します。STOP ボタンを押すとメッセージが消えます。

BufferFull!!	録音データが本機の処理能力を越えました。 不要なトラックデータをデリート(削除)して、もう一度録音してください。
Clean Head! (STOP ランプ点滅なし)	ヘッドが汚れています。 ヘッドクリーニングをしてください。(P.2参照)ヘッドクリーニングをしても、このメッセージが表示される場合は、フロッピーディスクに問題がある可能性があります。新しいフロッピーディスクに交換してもう一度操作をやり直してください。
CopyProtect	コピー元のディスクにコピープロテクトがかかっています。 コピーできません。
DiskFull	ディスクのメモリー容量がいっぱいになりました。 不要なデータをデリート(削除)するか、別のフロッピーにもう一度録音してください。
FDC Busy.	取り扱いデータが本機の処理能力を越えました。 不要なデータをデリート(削除)してください。
MidiInFull	MIDI受信バッファがいっぱいになりました。 MIDIフィルターの設定(P.33参照)を利用するなどして、MIDIデータ量を調整してください。
No Disk	再生中にフロッピーディスクをイジェクトしました(取り出しました)。 再生中は、フロッピーディスクをイジェクトしないでください。
Play Protect	ディスクやソングにプレイ(再生)プロテクトがかかっています。または、フォーマットの異なるファイルデータ(スタンダードMIDIファイル・フォーマット1)や、ソング以外のデータが、ディスクに記録されています。 プレイ(再生)できません。
ReadWriteErr	ディスクの読み書きが正常に行えません。 ヘッドクリーニングを行ってもう一度操作してください。
SystemError	本機のシステムにトラブル(エラー)が起こりました。 電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。
WriteProtect	フロッピーディスクやソングにライトプロテクト(書き込み禁止)がかかっています。 ライトプロテクトを外してもう一度操作してください。(ただし、現在のデータは失われます。) 本機で録音したソングデータやDOCディスクをコピーしたデータ以外は、再録音や録音データのエディットはできません。

## MIDIデータフォーマット

## 1 音源セクション受信データ

## 1.1 チャンネル・ボイス・メッセージ

## 1) ノートオフ

ステータス	第2バイト	第3バイト
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)  
 kk=ノートナンバー：00H~7FH (0-127)  
 vv=ベロシティ：00H~7FH (0-127)  
 (ベロシティの値は無視します。)

## 2) ノートオン

ステータス	第2バイト	第3バイト
9nH	kkH	vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)  
 kk=ノートナンバー：00H~7FH (0-127)  
 vv=ベロシティ：01H~7FH (1-127)

## 3) コントロールチェンジ

## (1) バンクセレクトMSB

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	00H	mmH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)  
 mm=バンクナンバー-MSB：00H~7FH (1-127)

DOCモードの時は受信しません。GMモードの時CH10は受信しません。プログラムチェンジを受信するまでバンクセレクトの処理は保留されず。GM ONを受信するとCH10は7FHにその他のチャンネルは00Hに初期化されます。

## GMモード

00H：GMメロディ音色  
 01H~7EH：無発音  
 7FH：GMリズム音色

## (2) モジュールション

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	01H	vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)  
 vv=モジュールションデプス：00H~7FH (1-127)

初期値 [ 00H ]

GMモードの場合はピッチモジュールション。  
 DOCモードの場合は、音色番号6, 9, 61, 82, 126は変化しません。音色番号16と19はアンプリチュードモジュールション。その他の音色はピッチモジュールション。

## (3) データエントリー

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 06H mmH MSB

BnH 26H llH LSB

BnH 60H xxH インクリメント

BnH 61H xxH デクリメント

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)  
 mm=NRPN・RPNパラメーターの上位バイト  
 ll=NRPN・RPNパラメーターの下位バイト  
 xx=認識しません。

## (4) ボリューム

ステータス	第2バイト	第3バイト
BnH	07H	vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)  
 vv=ボリューム：00H~7FH (0-127)  
 GMモード初期値 [ 64H ]

DOCモード初期値 [ 7FH ]

## (5) パンポット

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 0AH vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=パンポット：00H~7FH (0-127)

GMモード初期値 [ 40H ]

DOCモード初期値 [ 48H ] (15chのみ40H)

## (6) エクスプレッション

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 0BH vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=エクスプレッション：00H~7FH (0-127)

初期値 [ 7FH ]

## (7) サステイン

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 40H vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=コントロールバリュー：00H~7FH (0-127)

初期値 [ 00H ]

00H (SHORT)~7FH (LONG)：連続可変

ただし、MDPモード時、GMモードのみ：

00H~3FH：OFF

40H~7FH：ON

## (8) ソステヌート

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 42H vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=コントロールバリュー：00H~7FH (0-127)

初期値 [ 00H ]

00H~3FH：OFF

40H~7FH：ON

## (9) ソフト

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 43H vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=コントロールバリュー：00H~7FH (0-127)

初期値 [ 00H ]

00H~3FH：OFF

40H~7FH：ON

GMモードの時は受信しません。

## (10) ポルタメントコントロール

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 54H kkH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

kk=ソースノートナンバー：00H~7FH (0-127)

## (11) ドライセンドレレベル

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 5AH vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=コントロールバリュー：00H~7FH (0-127)

初期値 [ 7FH ]

DOCモードの時は受信しません。

## (12) リバースンドレレベル

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 5BH vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=コントロールバリュー：00H~7FH (0-127)

127)

初期値 [ 40H ]

GMモードでは常に有効です。DOC ONの後ではCH16のリバースンドレレベルが全てのチャンネルに有効です。DOCモードのチャンネル毎リバースンドレレベルが有効となります。

## (13) コーラスセンドレレベル

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 5DH vvH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

vv=コントロールバリュー：00H~7FH (0-127)

初期値 [ 00H ]

DOCモードでは00H~3FH：OFF, 40H~7FH：

ON

## (14) NRPN MSB

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 63H mmH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

mm=NRPNパラメーターナンバーの上位バイト

：00H~7FH (0-127)

## (15) NRPN LSB

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 62H llH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

ll=NRPNパラメーターナンバーの下位バイト：

00H~7FH (0-127)

## (16) RPN MSB

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 64H mmH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

mm=RPNパラメーターナンバーの上位バイト：

00H~7FH (0-127)

初期値 [ 7FH ]

## (17) RPN LSB

ステータス 第2バイト 第3バイト

BnH 65H llH

n=MIDIチャンネル：0H~FH (ch.1~ch.16)

ll=RPNパラメーターナンバーの下位バイト：

00H~7FH (0-127)

初期値 [ 7FH ]

## (18) ドラムピッチコース

NRPN データエントリー

MSB LSB MSB LSB

18H rrH mmH xxH

rr=ドラムインストナンバー

mm=コントロールバリュー

xx=認識しない

初期値 [ 40H, 00H ]

DOCモードの時は受信しません。

## (19) ピッチベンドセンシティブィティ

RPN データエントリー

MSB LSB MSB LSB

00H 00H mmH xxH：00H, 00H~18H,

00H

mm=コントロールバリュー

xx=認識しません

初期値 [ 02H, 00H ]

### (20) ファインチューン

RPN データエントリー  
MSB LSB MSB LSB  
00H 01H mmH llH : 00H, 00H ~ 7FH, 7FH  
mm=コントロールバリュー上位バイト  
ll=コントロールバリュー下位バイト  
初期値 [ 40H, 00H ]

### (21) コースチューン

RPN データエントリー  
MSB LSB MSB LSB  
00H 02H mmH xxH : 28H, 00H ~ 58H, 00H  
mm=コントロールバリュー  
xx=認識しません  
初期値 [ 40H, 00H ]

### 4) プログラムチェンジ

ステータス 第2バイト  
CnH ppH  
n=MIDIチャンネル : 0H ~ FH ( ch.1 ~ ch.16 )  
pp=プログラムナンバー : 00H ~ 7FH ( 0-127 )  
初期値 [ 00H ]

### 5) チャンネルブレッシャー

ステータス 第2バイト  
DnH vvH  
n=MIDIチャンネル : 0H ~ FH ( ch.1 ~ ch.16 )  
vv=チャンネルブレッシャー : 00H ~ 7FH ( 0-127 )  
初期値 [ 00H ]  
GMモードの時はモジュレーションとして動作します。DOCモードの時は受信しません。

### 6) ピッチベンド

ステータス 第2バイト 第3バイト  
EnH llH mmH  
n=MIDIチャンネル : 0H ~ FH ( ch.1 ~ ch.16 )  
mm=ピッチベンドMSB : 00H ~ 7FH ( 0-127 )  
ll=ピッチベンドLSB : 00H ~ 7FH ( 0-127 )  
初期値 [ 40H, 00H ]

## 1.2 チャンネル・モード・メッセージ

### 1) オールサウンドオフ

ステータス 第2バイト 第3バイト  
BnH 78H xxH  
n=MIDIチャンネル : 0H ~ FH ( ch.1 ~ ch.16 )  
xx=認識しません

### 2) リセットオールコントローラー

ステータス 第2バイト 第3バイト  
BnH 79H xxH  
n=MIDIチャンネル : 0H ~ FH ( ch.1 ~ ch.16 )  
xx=認識しません  
このメッセージを受信すると以下のコントローラーの設定が変わります。

コントローラー	設定値
ピッチベンド	[ 40H, 00H ]
チャンネルブレッシャー	[ 00H ]
モジュレーション	[ 00H ]
エクスペッション	[ 7FH ]
サステイン	[ 00H ]
ソステヌート	[ 00H ]
ソフト ( DOC時 )	[ 00H ]

NRPN [ 7FH, 7FH ]  
RPN [ 7FH, 7FH ]  
レガートコントロールの設定をリセット

### 3) オールノートオフ

ステータス 第2バイト 第3バイト  
BnH 7BH xxH  
n=MIDIチャンネル : 0H ~ FH ( ch.1 ~ ch.16 )  
xx=認識しません

## 1.3 システム・エクスクルーシブ・メッセージ

### 1) DOC on

F0H, 43H, 73H, 01H, 14H, F7H

### 2) リバーブタイプ

F0H, 43H, 73H, 01H, 11H, 0FH, 59H, nnH, F7H  
nn=リバーブタイプ : 00H=off  
01H=Room  
02H=Hall1  
03H=Hall2  
04H=Cosmic

### 3) チャンネル毎のリバーブデプス on

F0H, 43H, 73H, 01H, 18H, F7H  
GMモードの時は受信しません。

### 4) マスターチューニング

F0H, 43H, 1xH, 27H, 30H, 00H, 00H, xmH, xlH, xxH, F7H  
x, xx=認識しません  
m=チューニングのMSB  
l=チューニングのLSB

### 5) GMシステムON

F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H

### 6) マスターボリューム

F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, xx, mm, F7H  
mm=マスターボリューム  
xx=認識しません  
DOCモードの時は受信しません。

## 2 シーケンサー送受信データ

### 2.1 チャンネル・メッセージ

チャンネルメッセージは全て録音・再生する。  
8nH, kkH, vvH ノートオフ  
9nH, kkH, vvH ノートオン  
AnH, kkH, vvH ポリフォニックキープレッシャー  
BnH, nnH, vvH コントロールチェンジ  
CnH, ppH プログラムチェンジ  
DnH, vvH チャンネルブレッシャー  
EnH, llH, mmH ピッチベンド

### 2.2 システム・エクスクルーシブ・メッセージ

システム・エクスクルーシブ・メッセージは全て記録します。  
F0H, . . . . . , F7H

### 2.3 システム・コモン・メッセージ

#### 1) MIDIタイムコード

F1H, ndH  
受信しません。

#### 2) ソングポジションポインター

F2H, llH, hhH ソングポジションポインター  
Remote InがONで、ストップあるいはプレイポーズの場合受信し指定のポジションでポーズ状態となります。

#### 3) ソングセレクト

F3H, ssH ソングセレクト  
受信しません。

#### 4) チューンリクエスト

F6H チューンリクエスト  
受信しません。

### 2.4 リアルタイムメッセージ

#### 1) タイミングクロック

F8H  
外部同期の場合受信します。演奏中またはプレイ中、送信します。

#### 2) スタート/コンティニュー/ストップ

FAH スタート  
FBH コンティニュー  
FCH ストップ  
スタート/コンティニューはRemote OutがONの場合、送信します。Remote InがONで、ストップあるいはプレイポーズの場合、受信します。  
ストップは、Remote InがONでプレイ中の場合、受信します。

#### 3) アクティブセンス

FEH  
送受信します。FEHを受信後500ms間何も入力が無かった場合オールノートオフ、リセットオールコントローラーをします。送信は250ms間隔です。

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 ~ 16 CH x	1 ~ 16 CH x	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 x *****	モード 3 x x	
ノート ナンバー	音域	0 ~ 127 ( 1 ) *****	0 ~ 127 0 ~ 127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	x	9nH, v=1 ~ 127 x 9nH, v=0 or 8nH	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	( 1 ) ( 2 ) ( 1 ) ( 2 )	( 2 ) ( 2 )	
ピッチベンダー		( 1 ) ( 3 )	( 3 )	
コントロール	1 7 11 64 66 67 120 ~ 127 その他	( 1 ) ( 4 ) ( 1 ) ( 5 ) ( 1 ) ( 6 ) ( 1 ) ( 7 ) ( 1 ) ( 7 ) ( 1 ) ( 7 ) ( 1 ) ( 8 ) ( 1 ) ( 9 )	( 4 ) ( 5 ) ( 6 ) ( 7 ) ( 7 ) ( 7 ) ( 8 ) ( 9 )	モジュレーション ボリューム エクスプレッション サステイン ソステヌート ソフト
プログラム チェンジ	設定可能範囲	( 1 ) ( 10 ) *****	( 10 )	
エクスクルーシブ		( 1 ) ( 11 )	( 11 )	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	( 12 ) x x	( 12 ) x x	
リアル	クロック コマンド	( 12 )	( 14 ) ( 13 )	
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	( 1 ) ( 8 ) ( 1 ) ( 8 ) x	( 8 ) ( 8 ) x	
<p>備考: 1 MIDI送信チャンネルで x設定可 2 MIDIアフタータッチフィルター設定がOFFの時 x 3 MIDIピッチバンドフィルター設定がOFFの時 x 4 MIDIモジュレーションフィルター設定がOFFの時 x 5 MIDIボリュームフィルター設定がOFFの時 x 6 MIDIエクスプレッションフィルター設定がOFFの時 x 7 MIDIペダルフィルター設定がOFFの時 x 8 MIDIモードメッセージフィルター設定がOFFの時 x 9 MIDIその他のコントロールチェンジフィルター設定がOFFの時 x 10 MIDIプログラムチェンジフィルター設定がOFFの時 x 11 MIDIエクスクルーシブフィルター設定がOFFの時 x 12 スタート/コンティニュー/ストップメッセージの送信設定がONの時 13 スタート/コンティニュー/ストップメッセージの受信設定がOFFの時 x 14 クロック設定がEXTの時 x</p>				

モード 1: オムニ・オン、ポリ  
モード 3: オムニ・オフ、ポリ

モード 2: オムニ・オン、モノ  
モード 4: オムニ・オフ、モノ

:あり  
x :なし

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	x x	1 ~ 16 CH 1 ~ 16 CH
モード	電源ON時 メッセージ 代用	x x *****	モード 3 x x
ノート ナンバー	音域	x *****	0 ~ 127 0 ~ 127
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	x x	9nH, v=1 ~ 127 x 9nH, v=0 or 8nH
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	x x	x
ピッチベンダー		x	
コントロール	0 1 6, 38 7 10 11 64 66 67 84 90 91 93 96 97 98, 99 100, 101 120 121	x x x x x x x x x x x x x x x x x x x	バンク・セレクト MSB モジュレーション データ・エントリー ボリューム パン エクスプレッション サステイン ソステヌート ソフト ポルタメント・コントロール ドライ・センド・レベル リバーブ コーラス RPN・データ・インクリメント RPN・データ・デクリメント NRPN MSB, LSB RPN MSB, LSB オールサウンド・オフ リセット・オール・コントローラー
プログラム チェンジ	設定可能範囲	x *****	0 ~ 127 0 ~ 127
エクスクルーシブ		x	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	x x x	x x x
リアル	クロック コマンド	x x	x x
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	x x x x	x (123 ~ 125) x
備考:			

モード 1: オムニ・オン、ポリ  
モード 3: オムニ・オフ、ポリ

モード 2: オムニ・オン、モノ  
モード 4: オムニ・オフ、モノ

:あり  
x :なし

## こんなときは・・・

現象	原因	解決方法
録音できない。	録音曲数が60曲を越えた、または、メモリー残量0になりました。	新しいフロッピーディスクに録音してください。
	MIDIケーブル、ステレオ↔フォンケーブルが正しく接続されていません。	「外部機器との接続」の項をもう一度読んで、ケーブルを正しく接続してください。
再生しても外部機器が鳴らない。	再生パートに録音データが記録されていません。	録音データが記録されているパートを再生してください。
	MIDIケーブル、ステレオ↔フォンケーブルが正しく接続されていません。	「外部機器との接続」の項をもう一度読んで、ケーブルを正しく接続してください。
	再生パートのボリューム設定が0になっています。	再生パートのボリュームを大きくしてください。
	外部機器の音量が0になっています。	外部機器の音量を大きくしてください。
	再生パートがミュートされています。	RIGHT/A, LEFT/B, OTHERS/Cボタンのいずれかを押して、再生パートのミュートを解除してください。または、再生パートがマイナスイオンされていないか確認してください。
本機の音源が鳴らない。	MIDI送信チャンネルの設定が間違っています。	「MIDI送信チャンネルの設定」の項をもう一度読んで、スイッチを正しく設定してください。
	MIDIケーブル、ステレオ↔フォンケーブルが正しく接続されていません。	「外部機器との接続」の項をもう一度読んで、ケーブルを正しく接続してください。
	鳴らしているパートの音量が0になっています。	パートの音量を大きくしてください。
	鳴らしているパートがミュートされています。	RIGHT/A, LEFT/B, OTHERS/Cボタンのいずれかを押して、パートのミュートを解除してください。または、鳴らしているパートがマイナスイオンされていないか確認してください。
録音データが全部再生されない。	最大同時発音数を越えています。	本機の最大同時発音数は32です。(P.36参照) 16トラックの演奏音の合計が最大32音の範囲で鳴らすことができます。
	録音時にMIDIフィルターの設定が「OFF」になっていた。	MIDIフィルターの設定を「ON」に変更して、もう一度録音してください。
メトロノームやイントロカウントの音が聞こえない。	メトロノーム/イントロカウントの音量が0になっています。	メトロノーム/イントロカウントの音量を大きくしてください。
	小節/時間表示の設定が「時間」の場合、イントロカウントは鳴りません。	小節/時間表示の設定を「小節」にして、もう一度操作してください。

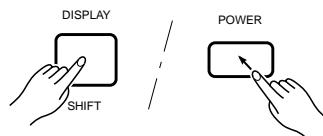
## 初期化 (システムリセット) について

以下の設定は、電源を切っても約1週間バックアップされています。

- ・小節/時間 (TIME/MEASURE) 表示
- ・ソングリピートのモード
- ・パート (トラック) アサイン
- ・MIDIの設定 (クロック・スタート/コンティニュー/ストップコマンド [受信・送信]・MIDIスルー・各種フィルター [モジュレーション・ボリューム・エクスプレッション・ペダル・その他のコントロールチェンジ・モードメッセージ・プログラムチェンジ・ピッチベンド・アフタータッチ・エクスクループ・MIDI受信モード])
- ・DOU-10/MDP2モード

上記の設定 (DOU-10/MDP2モードを除く) を含め、本機の設定を以下の方法で初期設定 (工場出荷時の設定) に戻すことができます。初期設定に戻すことを「初期化」と呼びます。

SHIFTボタンを押しながら、電源を入れると、LCDディスプレイに「System Reset」が表示され、本機のすべての設定が初期化されます。



System Reset



## DOU-10/MDP2モード切り替えについて

以下の方法で、本機をDOU-10/MDP2モードのどちらかに切り替えることができます。

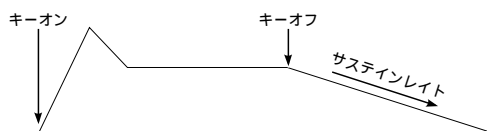
DOU-10モード .... RIGHT/Aボタンを押しながら電源を入れる。

MDP2モード ..... LEFT/Bボタンを押しながら電源を入れる。

### DOU-10モードに設定すると...

サステインONの時に、音色ごとにセットされているサステインレイトに従って、キーオフの後に音が減衰します。

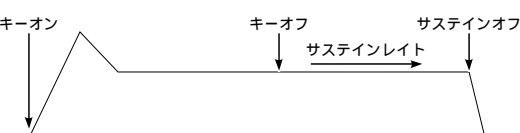
例：減衰音 / 持続音の音量変化



### MDP2モードに設定すると...

サステインONの時に、持続音ならばサステインレベル（サステインレイト最大、減衰時間が最も長い状態）で発音をホールドします。（最大同時発音数32音を越えた場合は、後着優先で発音します。）減衰音ならば音色ごとにセットされているサステインレイトに従って、キーオフの後に音が減衰します。

例：持続音の音量変化



#### メモ

デフォルト（初期設定）は「DOU-10」モードです。

システムリセット（P.46参照）を行っても、DOU-10/MDP2モードはリセットされません。

電源を切っても、DOU-10/MDP2モードは約1週間バックアップされます。

#### メモ

MDP2モードに設定されていても、DOC音源が使用されると、サステインON時、音色ごとにセットされているサステインレイトに従って、キーオフの後に音が減衰します。

## DOU-10/MDP2仕様

### 音源部

音源	GM (GENERAL MIDIシステムレベル1)、DOC
パート数	16パート
ボイス	128音色 + 8ドラムキット (GM) 61音色 + 1ドラムキット (DOC)
最大同時発音数	32音
テンポ	♩ = 32 ~ 280

### シーケンサー部

最大録音曲数	60曲
トラック数	16トラック
音符分解能	4分音符 / 96
記憶媒体	3.5インチ2DDフロッピーディスク

ディスプレイ LCDディスプレイ (73 × 23mm)

コントロール DISPLAY/SHIFT, SONG/VOICE ▼▲, TEMPO/VOLUME ▼▲, A-B REPEAT, PHRASE REPEAT, DEMO/SONG REPEAT, RIGHT/A, LEFT/B, OTHERS/C, PART/TRACK ◀ ▶, MINUS ONE, SOLO, METRONOME/INTRO. COUNT, PAUSE ||, STOP, PLAY/DISK COPY ▶, REW/SONG DELETE ◀◀, FWD/SONG COPY TO ▶▶, REC/DISK FORMAT

### その他

POWER, VOLUME, CONTRAST, BEAT, INPUT	POWER, VOLUME, CONTRAST, BEAT, INPUT
SELECT, INPUT VOL, SEND CHANNEL CH 1, 2/CH 1-16/INT	SELECT, INPUT VOL, SEND CHANNEL CH 1, 2/CH 1-16/INT
接続端子	PHONES, DC IN 12V 1.5A, INPUT R, L/MONO, OUT PUT R, L/MONO, MIDI (MIDI IN, MIDI OUT)
定格電圧・電流	12V、1.5A (PA-5B)
消費電力	15W
出カインピーダンス	OUTPUT : 500Ω
入カインピーダンス	INPUT : 500kΩ (L, R)、250kΩ (MONO)
寸法 (mm)	310 (W) × 245 (D) × 87 (H)
重量 (kg)	2.1
付属品	DOU-10/MDP2専用・付属デモディスク (3.5インチ2DDフロッピーディスク、再生専用) ケーブルセット (ピン↔フォンケーブル×2、ピン↔フォン変換プラグ×2) MIDIケーブル×2 電源アダプター (PA-5B) 取扱説明書

仕様、および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

# インデックス

## ア

アフタータッチ (フィルター) .. 33

## イ

イジェクト ..... 2  
イントロカウント ..... 20  
インプットセレクト ..... 5  
インプットボリューム ..... 4, 5  
ESEQデータ ..... 8  
ESEQフォーマット ..... 8  
INPUT, OUTPUT端子 ..... 4

## エ

エクスクルーシブ (フィルター) 33  
エクスプレッション (フィルター) 33  
エディット ..... 23  
エラーメッセージリスト ..... 41  
A-Bリピート ..... 12  
LCDディスプレイ ..... 6  
SMF (スタンダードMIDIファイ  
ル) フォーマット ..... 8

## オ

オーバーダブ録音 ..... 23  
オールリピート ..... 13  
音源 ..... 30  
音源発音ディレイ ..... 16  
音量 ..... 6

## カ

外部同期 ..... 31

## キ

キャラクターリスト ..... 26

## ク

クオンタイズ (録音後) ..... 24  
クオンタイズ (録音時) ..... 21  
クロックの設定 ..... 31

## コ

コズミック (リバーブ) ..... 16  
コントラスト ..... 6  
コントロールチェンジ  
(フィルター) ..... 33

## サ

再生 ..... 8  
最大同時発音数 ..... 36

## シ

磁気ヘッド ..... 2  
シーケンサー ..... 26, 30  
システムリセット ..... 46  
シフト ..... 11  
出力端子 ..... 4  
初期化 ..... 46  
小節 / 時間表示 ..... 18  
シングルリピート ..... 13  
シンクロナイズ ..... 9, 11, 22  
General MIDI  
(システムレベル1) ..... 8, 30  
GM (General MIDI) ソフト ..... 8

## ス

スタート / コンティニュー /  
ストップコマンド (受信) ..... 32  
スタート / コンティニュー /  
ストップコマンド (送信) ..... 32  
スタート / コンティニュー /  
ストップメッセージ ..... 32  
ストップ ..... 6, 7, 11, 22  
スリープ機能 ..... 3

## ソ

送信チャンネル ..... 31  
その他のパート ..... 17  
ソロ ..... 14  
ソング ..... 7, 9  
ソングコピー ..... 27  
ソングデータ ..... 27  
ソングデリート ..... 28  
ソングネーム ..... 26  
ソングリピート ..... 13

## タ

ダイレクトファンクション ..... 41  
タッチチェンジ ..... 16

## チ

チャンネル ..... 31  
チューニング ..... 15

## テ

ディスクオーケストラ  
コレクション (DOC) ..... 8, 30  
ディスクコピー ..... 28  
ディスクデモ曲 ..... 7  
ディスクドライブ ..... 2  
ディスクトランスポーズ ..... 15  
ディスクフォーマット ..... 18  
ディスク挿入口 ..... 2  
デモソングリスト ..... 35  
デモ曲 ..... 6, 7  
電源 ..... 6  
電源アダプター ..... 3  
テンポ ..... 9  
DOCソフト ..... 8

## ト

トラック ..... 17, 19  
トラックアサイン ..... 17  
トラックデータの削除 ..... 24  
ドラムキット ..... 10, 38

## ナ

内蔵デモ曲 ..... 6  
内部同期 ..... 31

## ニ

入力端子 ..... 4

## ハ

パート ..... 10, 17  
パートアサイン ..... 17  
パート別練習 ..... 14  
早送り ..... 11  
パルクダンプ ..... 26  
パンチアウト ..... 23  
パンチイン ..... 23  
パンチイン録音 ..... 23

## ヒ

ピアノプレーヤソフト ..... 8  
左手パート ..... 17  
ピッチベンド (フィルター) ..... 33  
拍子 ..... 21  
BEATランプ ..... 9

## フ

ファイルフォーマット ..... 8  
ファンクションチャート ..... 40  
フィルター ..... 33  
フォーマット ..... 18  
付属ディスク ..... 7  
フリーズナンバー ..... 12  
フリーズマーク ..... 12  
フリーズリピート ..... 12  
プレイファンクション ..... 15, 40  
プログラムチェンジ (フィルター) 33  
フロッピーディスク ..... 2

## ヘ

ペダル [ソフト / ダンパー /  
ソステヌート] (フィルター)  
33  
ヘッドクリーニング ..... 2  
ヘッドフォン ..... 5  
ペロシティ ..... 16

## ホ

ポーズ ..... 11  
ホール1 (リバーブ) ..... 16  
ホール2 (リバーブ) ..... 16  
ボイスリスト ..... 36  
ボリューム ..... 6  
ボリューム (フィルター) ..... 33

## マ

巻き戻し ..... 11  
マーク ..... 12  
マイナスイオン ..... 14  
マルチトラック録音 ..... 25

## ミ

右手パート ..... 17  
ミュージックソフト ..... 8  
ミュート (消音) ..... 10  
MIDI ..... 31  
MIDIインプリメンテーション  
チャート ..... 44  
MIDIケーブル ..... 4  
MIDI受信モード ..... 34  
MIDIスルー ..... 32  
MIDI送信チャンネル  
(センドチャンネル) ..... 9, 31  
MIDI端子 ..... 4  
MIDIデータフォーマット ..... 42  
MIDIトランスポーズ ..... 33  
MIDIファンクション ..... 31  
MIDI IN ..... 4  
MIDI OUT ..... 4

## メ

メトロノーム ..... 20  
メモリー残量 ..... 22

## モ

モードメッセージ (フィルター) 33  
モジュレーション (フィルター) 33

## ユ

ユーザランプ ..... 2

## ラ

ライトプロテクトタブ ..... 2  
ランダムリピート ..... 13

## リ

リバーブ ..... 16  
リバーブタイプ ..... 16  
リピート再生 ..... 12  
リモート操作 ..... 32

## ル

ルーム (リバーブ) ..... 16

## レ

レコーディング  
ファンクション ..... 21, 41

## ロ

録音 ..... 18

# 保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書により、ご購入から満1年です。  
(国内のみ有効)

保証期間の1年を過ぎましても、有償にて責任をもってサービスを実施いたします。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ店、または、下記のサービス拠点までお問い合わせください。

## お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にご持参ください。責任をもって修理調整いたします。

## サービスのご依頼

ご使用中に"故障ではないか"と思われましたら、まず本書の「こんなときは・・・」の項をお読みいただき、ご確認ください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)なお、サービスをご依頼される時は、お名前、ご住所、電話番号などを正確にお知らせください。また、お勤めなどでご不在がちな方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡先をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたい時や、万一やむをえない事情によってお約束を変更しなければならないような時に、お客様にご迷惑をおかけしなすみます。)

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 (ヤマハセンター内) TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 (仙台卸商共同配送センター3F) TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション*	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6625
(*修理品お持ち込み窓口)		
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 (ヤマハ(株)宮竹工場内) TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 (ヤマハ(株)名古屋流通センター3F) TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 (ヤマハ(株)千里丘センター内) TEL. 06-877-5262
四国サービスセンター	〒760	高松市丸亀町8-7 (ヤマハ(株)高松店内) TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
本社カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911 (ヤマハ(株)宮竹工場内) TEL. 053-465-1158

## 各支店営業課リスト

### DOU-10 取扱営業課

北海道支店 営業課	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター TEL. 011-512-1550
仙台支店 営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6149
東京支店 鍵盤推進課	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5442
関東支店 営業推進課	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-1680
名古屋支店 鍵盤推進課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5140
大阪支店 鍵盤推進課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL. 06-252-7541
広島支店 営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3748
九州支店 営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2152
電子楽器営業部 クラビノーバ営業課	〒430	浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-3275

住所および電話番号は変更になる場合があります。

### MDP2 取扱営業課

北海道支店LM営業課	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-512-6113
仙台支店LM営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 TEL. 022-222-6147
東京支店LM営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5471
関東支店LM営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-1688
名古屋支店LM営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5199
大阪支店LM営業課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL. 06-252-5231
広島支店LM営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル TEL. 082-244-3749
九州支店LM営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
電子楽器営業部 デジタル楽器営業課	〒430	浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-2431

### デジタルインフォメーションセンターについて

ヤマハデジタルインフォメーションセンターでは、デジタル楽器の使用法やトラブルなどについて、電話による質問をお受けいたします。お問い合わせの際には、「製品名」「製造番号」「ご住所」「お名前」「電話番号」を必ずお知らせください。

### ヤマハデジタルインフォメーションセンター

TEL. 053-460-1666  
受付日 月曜日～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)  
受付時間 9:00～12:00 / 13:00～17:00

住所および電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION

**ヤマハ株式会社**

M.D.G., EMI Division  
© Yamaha Corporation 1994

?????? ?????????????? Printed in Japan